大分車いすマラソン2020

OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020

11.15 (SUN) 10:00 START

MEMORIAL BOOK

大会記念誌

大会会長あいさつ

1981年の国際障害者年に世界初の車いす単独のマラソンレースとしてスタートした「大分国際車いすマラソン」は、2020年、第40回記念大会を迎える予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際大会としての開催が困難であると判断し、残念ながら記念大会を2021年に延期しました。

しかしながら、国内外での競技会の中止や延期が相次ぎ、選手が日頃の努力の成果を発揮する機会が失われている中、日本の障がい者スポーツ発祥の地である大分として、車いすマラソンの灯を未来へとつないでいくことが大切だと考え、国内選手のみの参加に限定した大会の開催に向けて検討を重ねました。そして、開会式等の行事の中止、ボランティアの県内居住者への限定、沿道や競技場での応援自粛、出場選手に対する PCR検査の実施、体調管理チェックシート等を通じた選手・関係者の健康管理の徹底等、感染症対策をしっかりと講じた上で、「このスタートは、希望のはじまり。」とのスローガンを掲げ、「大分車いすマラソン2020」を開催しました。

レース当日は、爽やかな秋晴れの下、23都道府県から99名、トップアスリートから初出場の方まで幅広いアスリートの皆様が自らの限界に挑戦しました。

マラソン男子、最速クラスのT34/53/54では、序盤から先頭集団を引っ張っていた鈴木朋樹選手（東京都）が6キロ過ぎから抜け出して独走態勢のまま走り切り、1時間22分2秒で優勝を飾りました。T33/52クラスでは、佐藤友祈選手（岡山県）と上与那原寛和選手（沖縄県）が終始激しい争いを繰り広げましたが、同タイムの僅差で佐藤友祈選手が2年ぶりの優勝を果たしました。

マラソン女子T34/53/54クラスでは、土田和歌子選手（東京都）が巧みなレース展開で、見事8年ぶりの優勝を成し遂げました。

コロナ禍における全国規模のロードレースでは初となる今大会の開催に際し、多くの企業・団体・医療従事者・ボランティア・関係者等の皆様から一方ならぬご協力やご支援をいただきました。また、テレビやインターネット等を通じて多くの方々から熱い応援をいただきましたことに、この場を借りて、厚く御礼申し上げます。お陰様で、大分から世界へ向けて、選手の皆様の勇姿と、スポーツのもたらす希望の灯を広く発信することができました。

新型コロナウイルス感染症が収束し、世界中の車いすアスリートの方々やボランティア・関係者の皆様と共に第40回記念大会を盛大に開催できるよう祈念するとともに、障がい者スポーツの更なる振興はもとより、障がいの有無にかかわらず、誰もが心豊かに暮らせる共生社会の実現に向けて一層尽力することを誓い、発刊の挨拶といたします。

大分車いすマラソン2020 大会会長
大分県知事 **広瀬 勝貞**
HIROSE KATSUSADA

OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020

MEMORIAL BOOK

大分車いすマラソン2020

大会記念誌

マラソン男子 T34/53/54 優勝

鈴木 朋樹 すずき ともき

1° 22′ 02″ 東京都

SUZUKI TOMOKI / TOKYO

最速クラスの覇者は、唯一の東京2020パラリンピック出場内定者だった。近年、世界大会で頭角を現してきた日本のエースが王者の風格をまとい、日本記録と自己ベストに迫る好タイムで大分初優勝。「チャレンジ」を公言して挑んだレースのその先には世界王者たちとの戦いを見据える。

マラソン男子 T33/52 優勝

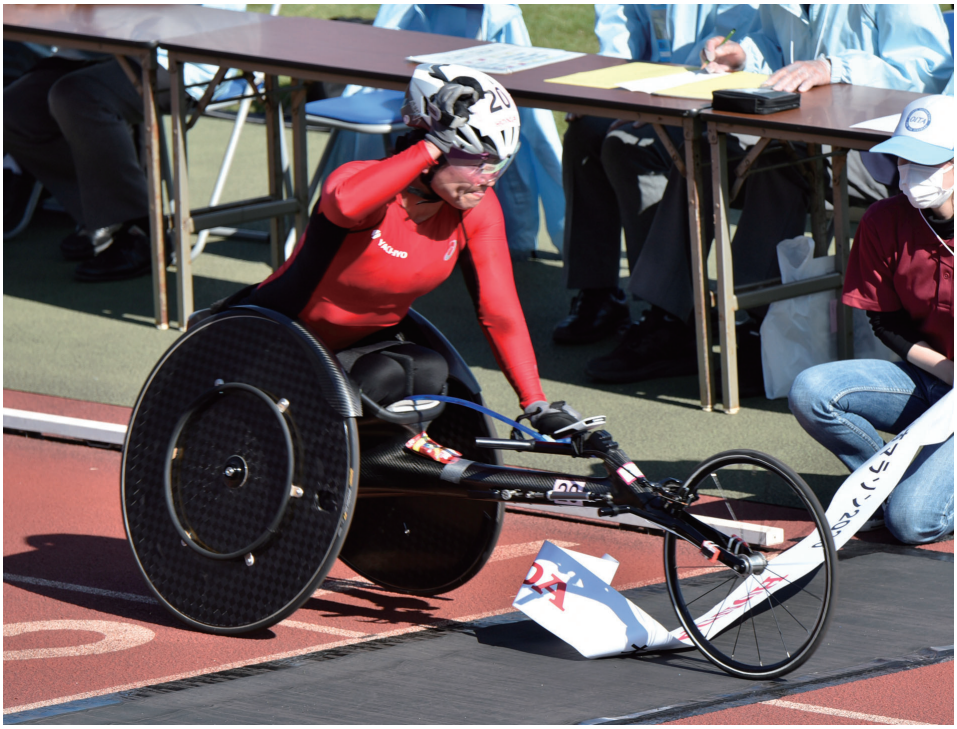
佐藤 友祈 さとう ともき

1° 49′ 29″ 岡山県

SATO TOMOKI / OKAYAMA

T52クラスで4つの世界記録を保持する王者は、今大会に先立ち9月に開催された日本パラ陸上選手権でも1500mで大会新記録をマーク。トラック競技で見せる強さはマラソンでも健在だった。東京2020パラリンピックでは400m、1500mへの出場が内定。金メダルが期待されている。

マラソン女子 T34/53/54 優勝



土田 和歌子 つちだわかこ

1° 39′ 42″　東京都

TSUCHIDA WAKAKO / TOKYO

過去2回の大分国際で喜納翼に王座を譲ったベテランが、雪辱を晴らし女王に返り咲いた。「挑戦者のつもりで臨んだ」という日本女子のトップアスリートは、コロナ禍でのレースを終え「苦しい局面で頑張っている人たちへのメッセージになれば」と世間へエールを送った。東京2020パラリンピックではトライアスロンとマラソンでの出場を狙う。

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝

久保 恒造 くぼ こうぞう

0° 43′ 42″ 北海道

KUBO KOZO / HOKKAIDO

車いすマラソン競技からスキー競技に転向し、冬季パラリンピックを2度経験。2014年から再び車いす競技にカムバックし、リオパラリンピックでは5000m、マラソンの日本代表として活躍した注目選手。今大会はスタート直後の舞鶴橋でトップに抜け出しフィニシュまで逃げ切った。

ハーフマラソン男子 T33/52 優勝

伊藤 竜也 いとう たつや

0° 57′ 48″ 福井県

ITO TATSUYA / FUKUI

2016年に競技生活を開始し、2年後に初出場したアジアパラ競技大会100m種目でいきなり当時のアジア新記録を記録。パラ陸上界で日に日に存在感を発揮している期待の新星が、挑戦5回目の大分のコースでハーフマラソン初優勝。1時間を切る好タイムでゴールした。

ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝

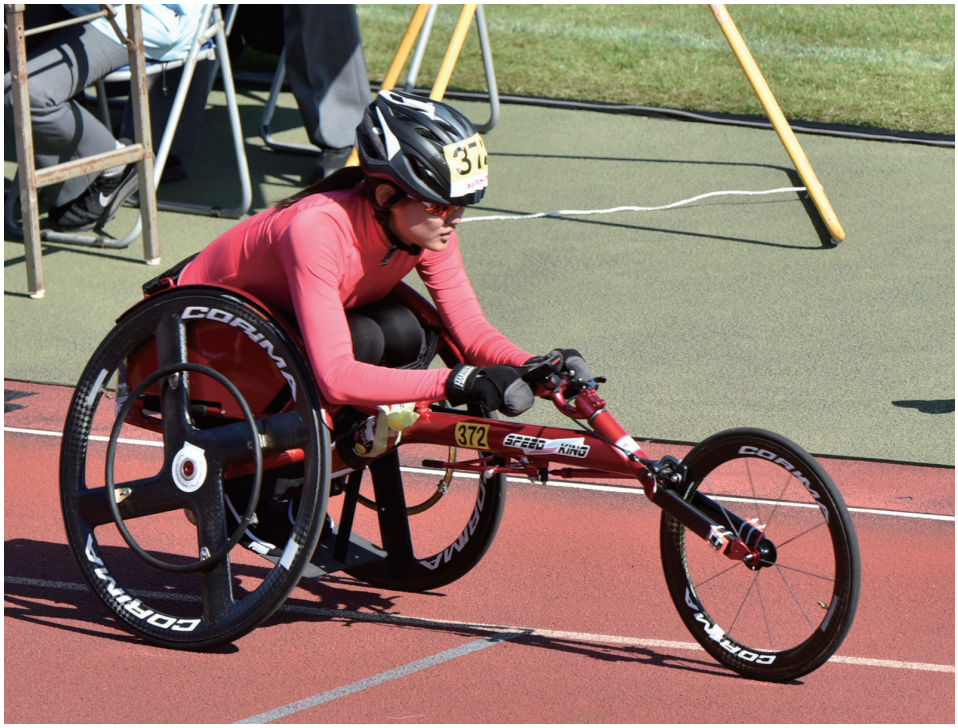
安川 祐里香 やすかわ ゆりか

0° 57′ 36″ 沖縄県

YASUKAWA YURIKA / OKINAWA

トラック競技では世界大会でも好成績を残すなど、年々、実力を増す注目の若手選手。2019年の大分で初マラソンに挑戦後、東京マラソン2020では銅メダルを獲得。今大会は、序盤から冷静なレースを展開。最後はみごとなラストスパートを見せ2位に10分以上の大差を付けて圧勝した。

ハーフマラソン女子 T33/52 優勝



片平 留依 かたひら るい

1° 45′ 35″ 福岡県

KATAHIRA RUI / FUKUOKA

2019年に初参加。今回は国内選手に限る大会となったため女子選手の姿が少なく、また絶対女王の木山由加選手の出場も見送られた中で、堂々の栄冠。2度目の大分で前回タイムを上回る成長を見せ、T33/52クラス唯一の出走者として力強く完走した。

受付・記者会見

11.14 (sat) 9:00~12:00
受付

大会前日の午前中に大分県庁で選手受付。医療スタッフ配置のうえ新型コロナウイルス感染症の予防策も万全。混雑がないよう受付時間帯を指定するなどしたほか、出場予定選手全員にPCR検査を実施した。

11.14 (sat) 12:30～13:00
記者会見

最速クラスにエントリーした有力選手6名がレースへの意気込みと大会に臨む喜びを会見。「走れる喜びを感じながらいろんな人に勇気を伝えられたら」と鈴木朋樹選手。他の選手も同様に健闘を誓った。

鈴木 朋樹 すずき ともき／東京都

渡辺 勝 わたなべ しょう／福岡県

山本 浩之 やまもと ひろゆき／福岡県

吉田 竜太 よしだりょうた／東京都

喜納 翼 きな つばさ／沖縄県

土田 和歌子 つちだ わかこ／東京都

11.14 (sat) 11:30～16:00
大分市共生社会ホストタウンイベント スイスフェア

パラリンピアンとの交流を通じてユニバーサルデザインのまちづくりなどを目指す「共生社会ホストタウン」のイベントが同時開催。

大分市のホストタウンは「スイス」。バリアフリーファッションショーや車いすマラソンの選手によるトークイベントが行われた。

スタート直前

レース直前ともなれば、例年の大会と変わらぬアスリートたちの風景。競技用のレーサーやロゴのチェックを無事終え、ストレッチやウォームアップなどをしながらスイッチを競技モードに。

リラックスした様子で入念にストレッチ

大分市役所周辺で、ウォームアップをする選手たち

スタート

11.15 (sun) 10:00
マラソンスタート
大分県庁前

雲ひとつない絶好のマラソン日和に、待ちわびた号砲が響く。男女22名が勢い良く出走。

11.15 (sun) 10:03

ハーフマラソン スタート

大分県庁前

ハーフマラソンの出場者は男女77名。ベテランから次世代のエースまでが肩を並べ、スタート。

ハーフマラソン スターター
大会副会長／大分市長
佐藤 樹一郎

レース

スプリント力を誇る鈴木朋樹がスタートダッシュ。5 kmの折り返し地点を過ぎると自分の力を試すように独走態勢に入った。無観客レースながら、沿道のスタッフらの拍手を追い風に選手たちがひた走る。

コース内で最大の勾配となる難所、弁天大橋では駆け引きも

レース

山本浩之、渡辺勝、副島正純らベテラン勢が2位集団を形成。懸命にトップの鈴木を追った

フィニッシュ

安定したペースを貫いた鈴木が、圧巻の優勝。続いてベテランから最年少14歳までが完走というそれぞれの栄光を掴んだ。選手たちは久々のレースを走りきった喜びを分かち合い、健闘をたたえ合っていた。

トラック勝負にもつれ込むシーンも。
最後まで粘り強い走り

レースを終えた選手たちを、ボランティアたちが温かく迎えた

表彰式

熱狂冷めやらぬ中、月桂樹の栄冠に輝く覇者たちを讃えるセレモニーが厳かに行われた。熟慮のうえ開催に踏み切ったコロナ禍での特別な大会が、無事に閉幕した。

マラソン男子 T34/53/54 優勝
鈴木 朋樹（東京都）

マラソン女子 T34/53/54 優勝
土田 和歌子（東京都）

マラソン男子 T33/52 優勝
佐藤 友祈（岡山県）

ハーフマラソン男子 T34/53/54 優勝
久保 恒造（北海道）

ハーフマラソン女子 T34/53/54 優勝
安川 祐里香（沖縄県）

ハーフマラソン男子 T33/52 優勝
伊藤 竜也（福井県）

ハーフマラソン女子 T33/52 優勝
片平 留依（福岡県）

協力者・ボランティア

大分県警察本部、陸上自衛隊をはじめとするボランティアの姿が舞台裏を支えた。大分が誇る伝統の大会運営スタイルだが、今回は必要最低限の人数に絞られた。

陸上自衛隊 第41普通科連隊

大分県警察本部交通機動隊

会場設営、選手たちの案内・対応、沿道の清掃などボランティアの役割は多岐に渡る。

協力者・ボランティア

大分車いすマラソン 2020
OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020
BS-TBS / OBS
ラジオ・テレビ・特設HP
生中継
HONDA
DENSO

車いす修理
WHEELCHAIR
REPAIRS

総合案内所 Information

生活用車いす預かり Wheelchairs
Check Area

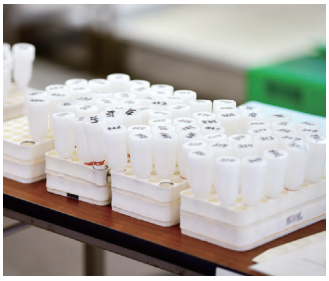
手荷物預かり Baggage
Check Area

ANA

OITA INTERNATIONAL
WHEELCHAIR MARATHON
STAFF
SPONSORS
OMRON
SONY
HONDA
三菱商事
DENSO
FUJITSU

新型コロナウイルス感染症対策

日本における障がい者スポーツ発祥の地として、コロナ禍でのモデルケースとなるような大会運営を企画。徹底した感染拡大予防マニュアルを示し、選手はもとより競技運営関係者やボランティアスタッフも体調管理を万全に臨んだ。地域住民にも理解を求め、沿道での観戦も自粛を依頼。感染者を出すことなく大会を締めくくることができた。



医療スタッフを配置して
万が一にも備えた

OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020

MEMORIAL BOOK

大分車いすマラソン2020

大会資料編

大分車いすマラソン2020　結果概要

●気象状況（大分陸上競技協会／午前10時発表）

・天候　晴れ　・気温　18.0℃　・風向　南南東　・風速　0.6m／秒　・湿度　53%

●レース概況

大分車いすマラソン2020は、11月15日（日）午前10時、大分県庁前をスタート、大分市営陸上競技場をフィニッシュとする国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コースで行われた。

当日は、爽やかな秋晴れの下、国内23都道府県から99名の選手が出走。うちマラソン20名、ハーフマラソン74名の計94名が完走した。

マラソン男子、最速クラスのＴ34/53/54では、鈴木朋樹選手（東京都）が序盤から先頭集団を引っ張り、６キロ過ぎから抜け出し、独走態勢のままフィニッシュまで走り切り、１時間22分２秒のアジア記録で優勝を飾った。

Ｔ33/52クラスでは、佐藤友祈選手（岡山県）と上与那原寛和選手（沖縄県）が終始激しい争いでレースを繰り広げたが、１時間49分29秒の同タイムながら着差により佐藤友祈選手が２年ぶり３回目の優勝を飾った。

マラソン女子Ｔ34/53/54クラスでは、土田和歌子選手（東京都）が喜納翼選手（沖縄県）に競り勝ち、１時間39分42秒で、８年ぶり６回目の優勝を果たした。

なお、初出場から５年以内のハーフマラソン国内最速選手に贈られる新人賞については、仲泊厚志選手（沖縄県）が受賞した。

●記録等

【マラソンの部】

〔男　子〕

T34／53／54優勝	鈴木　朋樹（東京都）	1°22′02″
T33／52優勝	佐藤　友祈（岡山県）	1°49′29″
T51	出走者なし	

〔女　子〕

T34／53／54優勝	土田　和歌子（東京都）	1°39′42″
T33／52	出走者なし	
T51	出走者なし	

【ハーフマラソンの部】

〔男　子〕

T34／53／54優勝	久保　恒造（北海道）	43′42″
T33／52優勝	伊藤　竜也（福井県）	57′48″
T51	出走者なし	

〔女　子〕

T34／53／54優勝	安川　祐里香（沖縄県）	57′36″
T33／52優勝	片平　留衣（福岡県）	1°45′35″
T51	出走者なし	

新　人　賞	仲泊　厚志（沖縄県）男子 T34／53／54　11位	49′01″

マラソンの部 表彰者/Prize Winners of marathon

クラス別

⑴女子〈T51〉

出走者なし

⑵男子〈T51〉

出走者なし

⑶女子〈T33／52〉

出走者なし

⑷男子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°49′29″	21	佐藤　友祈	SATO TOMOKI	31	岡山県	JAPAN
2	1°49′29″	22	上与那原　寛和	UEYONABARU HIROKAZU	49	沖縄県	JAPAN

⑸女子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°39′42″	20	土田　和歌子	TSUCHIDA WAKAKO	46	東京都	JAPAN
2	1°41′24″	19	喜納　翼	KINA TSUBASA	30	沖縄県	JAPAN

⑹男子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°22′02″	1	鈴木　朋樹	SUZUKI TOMOKI	26	東京都	JAPAN
2	1°26′44″	3	山本　浩之	YAMAMOTO HIROYUKI	54	福岡県	JAPAN
3	1°26′44″	2	渡辺　勝	WATANABE SHO	28	福岡県	JAPAN

ハーフマラソンの部 表彰者／Prize Winners of half marathon

クラス別

⑴女子〈T51〉

出走者なし

⑵男子〈T51〉

出走者なし

⑶女子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	1°45′35″	372	片平　留依	KATAHIRA RUI	27	福岡県	JAPAN

⑷男子〈T33／52〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°57′48″	338	伊藤　竜也	ITO TATSUYA	34	福井県	JAPAN
2	1°09′32″	347	髙田　稔浩	TAKADA TOSHIHIRO	55	福井県	JAPAN
3	1°12′17″	378	今井　義隆	IMAI YOSHITAKA	39	大阪府	JAPAN

⑸女子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°57′36″	323	安川　祐里香	YASUKAWA YURIKA	27	沖縄県	JAPAN
2	1°09′32″	354	見﨑　真未	MISAKI MAMI	18	熊本県	JAPAN
3	1°55′28″	373	西山　美沙希	NISHIYAMA MISAKI	20	大分県	JAPAN

⑹男子〈T34／53／54〉

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°43′42″	301	久保　恒造	KUBO KOZO	39	北海道	JAPAN
2	0°44′54″	311	城間　圭亮	SHIROMA KEISUKE	24	長崎県	JAPAN
3	0°44′55″	303	渡辺　習輔	WATANABE SHUSUKE	52	大分県	JAPAN

⑺新人賞（ハーフ男女／クラス混合、初出場から５年以内の今大会国内最速選手）

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード Number Card	氏名 Name		年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries／Territories	
1	0°49′01″	11	仲泊　厚志	NAKADOMARI ATSUSHI	15	沖縄県	JAPAN

マラソン　クラス別順位/Rankings for Marathon in each class

●T51　男子　　出走者なし

●T51　女子　　出走者なし

●T33／52　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1゜49′29″	21	佐藤　友祈	31	岡山県
2	1゜49′29″	22	上与那原　寛和	49	沖縄県

世界記録：トーマス・ガイアシュペヘラー　(オーストリア)　1゜40′07″　2008　北京パラリンピック
日本記録：上与那原　寛和　(沖縄県)　1゜40′10″　2008　北京パラリンピック
大会記録：サンティアゴ・サンツ　(スペイン)　1゜43′46″　2007　第27回大分国際

●T33／52　女子　　出走者なし

●T34／53／54　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1゜22′02″	1	鈴木　朋樹	26	東京都
2	1゜26′44″	3	山本　浩之	54	福岡県
3	1゜26′44″	2	渡辺　勝	28	福岡県
4	1゜26′47″	4	西田　宗城	36	大阪府
5	1゜26′47″	7	副島　正純	50	長崎県
6	1゜26′48″	6	洞ノ上　浩太	46	福岡県
7	1゜33′49″	10	樋口　政幸	41	千葉県
8	1゜34′49″	5	吉田　竜太	39	東京都
9	1゜36′47″	8	吉田　高志	42	大阪府
10	1゜39′36″	11	武村　浩生	32	福岡県
11	1゜45′38″	13	西原　宏明	40	京都府
12	1゜47′17″	15	辰巳　晃一	56	愛知県
13	1゜51′36″	14	笹原　廣喜	46	大分県
14	2゜13′58″	16	藤原　修	57	大分県
15	2゜21′19″	17	海野　剛	45	静岡県
16	2゜30′47″	18	樋栄　聖	47	大阪府

世界記録：ハインツ・フライ　(スイス)　1゜20′14″　1999　第19回大分国際
日本記録：洞ノ上　浩太　(福岡県)　1゜20′52″　2013　ソウル国際
大会記録：ハインツ・フライ　(スイス)　1゜20′14″　1999　第19回大分国際

●T34／53／54　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1゜39′42″	20	土田　和歌子	46	東京都
2	1゜41′24″	19	喜納　翼	30	沖縄県

世界記録：マニュエラ・シャー　(スイス)　1゜35′42″　2019　第39回大分国際
日本記録：喜納　翼　(沖縄県)　1゜35′50″　2019　第39回大分国際
大会記録：マニュエラ・シャー　(スイス)　1゜35′42″　2019　第39回大分国際

ハーフマラソン　クラス別順位/Rankings for Half Marathon in each class

●T51　男子　　出走者なし

●T51　女子　　出走者なし

●T33／52　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°57′48″	338	伊藤　竜也	34	福井県
2	1°09′32″	347	髙田　稔浩	55	福井県
3	1°12′17″	378	今井　義隆	39	大阪府
4	1°13′02″	359	飯嶋　毅洋	42	大阪府
5	1°26′05″	361	松尾　充浩	43	大阪府
6	1°29′18″	360	小出　公典	47	大分県
7	1°31′24″	370	櫻井　悠也	27	愛知県
8	1°33′44″	362	宇佐見　保弘	54	大阪府
9	1°38′09″	374	中崎　真	51	鹿児島県
10	1°52′52″	369	西島　健一郎	56	熊本県

日本記録：上与那原　寛和　（沖縄県）　49′38″　2008　第４回長野
大会記録：佐藤　友祈　（静岡県）　53′10″　2014　第34回大分国際

●T33／52　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	1°45′35″	372	片平　留依	27	福岡県

日本記録：八巻　智美　（福島県）　1°03′09″　2008　第４回長野
大会記録：ジェニー・ルンドブラッド　（スウェーデン）　58′03″　2002　第22回大分国際

●T34／53／54　男子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°43′42″	301	久保　恒造	39	北海道
2	0°44′54″	311	城間　圭亮	24	長崎県
3	0°44′55″	303	渡辺　習輔	52	大分県
4	0°44′56″	302	百武　強士	34	佐賀県
5	0°44′56″	307	廣道　純	46	大分県
6	0°45′04″	308	松永　仁志	48	岡山県
7	0°46′48″	310	木村　勇聖	21	長崎県
8	0°48′45″	309	岸澤　宏樹	24	大阪府
9	0°49′00″	304	大津　圭介	53	福岡県
10	0°49′01″	305	寒川　進	52	京都府
11	0°49′01″	381	仲泊　厚志	15	沖縄県
12	0°49′06″	306	田中　祥隆	45	福岡県
13	0°49′06″	312	炭谷　延幸	43	福岡県
14	0°51′08″	314	佐々木　凜平	24	東京都
15	0°51′20″	324	小玉　結一	21	大分県
16	0°51′39″	313	橋本　優樹	37	福岡県
17	0°52′43″	317	用田　竹司	44	京都府
18	0°52′53″	329	萩原　孝幸	44	兵庫県
19	0°55′46″	316	中井　康彦	41	大阪府
20	0°55′46″	328	山本　秀明	44	広島県
21	0°55′50″	322	渡邊　敏貴	53	東京都
22	0°55′50″	336	櫻井　秀彦	43	静岡県
23	0°56′48″	376	横田　茂	63	石川県
24	0°57′49″	382	遠山　勝元	14	千葉県
25	0°57′50″	321	佐野　純一郎	39	京都府
26	0°57′50″	377	村田　成謙	36	大阪府
27	0°57′51″	330	鈴木　俊光	64	静岡県
28	0°57′53″	335	山﨑　正一	61	高知県
29	0°57′54″	326	三浦　智晴	53	大分県
30	0°58′43″	383	大西　慶尚	28	兵庫県
31	1°00′19″	337	馬場　和也	40	京都府
32	1°01′24″	325	能島　孝洋	38	岡山県
33	1°02′42″	332	友岡　昭二	65	愛知県
34	1°03′20″	320	山北　泰士	22	佐賀県
35	1°04′35″	346	市野　隆	62	静岡県
36	1°04′39″	318	岩下　啓三	45	熊本県
37	1°04′46″	340	小川　敬	62	宮崎県
38	1°05′06″	342	田中　浩貴	28	兵庫県
39	1°05′39″	348	吉川　勇	67	大分県
40	1°06′42″	319	脇山　陸久	22	佐賀県
41	1°07′24″	334	城　隆志	60	大分県
42	1°07′28″	351	野々村　知幸	53	愛知県
43	1°08′20″	331	内賀島　守	59	熊本県
44	1°09′10″	344	後　義春	64	福井県
45	1°12′23″	350	原田　耕一	63	大分県
46	1°12′27″	358	前原　彰太朗	30	宮崎県
47	1°15′18″	339	佐藤　隆信	58	大分県
48	1°16′10″	345	松浦　正治	67	宮崎県
49	1°16′10″	352	酒井　俊二	67	愛知県
50	1°16′32″	343	中尾　柊太	16	福岡県
51	1°16′58″	341	新地　亮平	39	鹿児島県
52	1°19′28″	353	後藤　忠正	65	熊本県
53	1°19′29″	355	柴田　凌	26	大分県
54	1°27′35″	356	野田　浩二	53	大分県
55	1°31′09″	367	辻野　春翔	15	福岡県
56	1°36′05″	365	井﨑　英明	51	大分県
57	1°36′19″	371	吉廣　匡介	57	大分県
58	1°40′29″	368	川添　圭介	36	宮崎県
59	1°45′03″	366	斉藤　竜一	20	大分県
60	2°00′34″	384	立川　隼	14	大分県

日本記録：久保　恒造　（北海道）　40′21″　2018　2018はまなす
大会記録：久保　恒造　（北海道）　43′42″　2020　大分車いすマラソン2020

●T34／53／54　女子

順位 Rank	記録 Time	ナンバーカード NumberCard	氏名 Name	年齢 Age	都道府県／国／地域 Countries/Territories
1	0°57′36″	323	安川　祐里香	27	沖縄県
2	1°09′32″	354	見﨑　真未	18	熊本県
3	1°55′28″	373	西山　美沙希	20	大分県

日本記録：畑中　和　（兵庫県）　48′56″　2000　第２回福井
大会記録：土田　和歌子　（東京都）　49′36″　2000　第20回大分国際

大分車いすマラソン2020　都道府県別の出走者数

Oita Wheelchair Marathon 2020 The Number of Participants of Territories

国内参加者

Japanese Participants

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total		
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道			1		1		1
青森県							
岩手県							
宮城県							
秋田県							
山形県							
福島県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
埼玉県	1				1		1
千葉県	1		1		2		2
東京都	2	1	2		4	1	5
神奈川県							
新潟県							
富山県							
石川県			1		1		1
福井県			3		3		3
山梨県							
長野県							
岐阜県							
静岡県	1		3		4		4
愛知県	1		4		5		5
三重県							
滋賀県							
京都府	1		4		5		5
大阪府	3		7		10		10
兵庫県			3		3		3
奈良県							
和歌山県							
鳥取県			1		1		1
島根県							
岡山県	1		2		3		3
広島県			1		1		1
山口県							
徳島県							
香川県							
愛媛県							
高知県			1		1		1
福岡県	4		7	1	11	1	12
佐賀県			3		3		3
長崎県	1		2		3		3
熊本県			4	1	4	1	5
大分県	3		15	1	18	1	19
宮崎県			5		5		5
鹿児島県			2		2		2
沖縄県	1	1	1	1	2	2	4
計	20	2	73	4	93	6	99
	22		77				

大分車いすマラソン2020　実施要綱

1　目　的

新型コロナウイルス感染症の影響で、東京パラリンピックをはじめ、国内外の大会が相次いで中止・延期となり、選手が日頃の努力の成果を発揮する機会が失われている。

その中で、日本のパラスポーツ発祥の地である大分として、選手、スタッフ及び県民をはじめ大会を応援していただくすべての方と共に大会を作りあげ、車いすマラソンの勇気と希望の灯を未来につないでいくことを目的とする。

2　名　称

大分車いすマラソン2020（にーぜろにーぜろ）

3　主　催

大分県、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4　公　認

世界パラ陸上競技連盟（World Para Athletics）

（この大会は、WPA Approved Event として公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会(IPC)選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPA の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPA の公認対象ではない。）

5　主　管

一般財団法人大分陸上競技協会

6　共　催

株式会社大分放送

7　後　援

厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、公益社団法人大分県理学療法士協会、NHK 大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8　協　賛

オムロン株式会社、ソニー株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、株式会社富士通エフサス、富士通株式会社、新日本製薬株式会社、株式会社大分銀行、株式会社九電工、キヤノン株式会社、株式会社シップス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、明野中央病院、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社コンカー、公益財団法人笹川スポーツ財団、日本郵便株式会社、ヤフー株式会社、西日本電信電話株式会社　　計31社

9　協　力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会、株式会社日本航空、九州旅客鉄道株式会社

10　日　時(予定) ※日程、会場については、今後の状況により変更となる場合がある。

令和２年11月14日（土）

９時00分～12時00分		選手受付	（大分県庁舎）
12時30分～13時00分		有力選手記者会見	（大分県庁舎）

令和２年11月15日（日）

８時00分～	９時20分	手荷物・生活用車いすの受付	（大分城址公園）
８時00分～	９時20分	競技用車いすの検定、ロゴチェック	（大分城址公園）
８時00分～	９時25分	ウォームアップ	（大分市役所周辺）
９時25分～	９時45分	プレラインアップ	（大分市役所東側）
10時00分		マラソンスタート	（大分県庁前）
10時03分		ハーフマラソンスタート	（大分県庁前）

11　大会開催の基準等

⑴大会開催の目安となる基準（新型コロナウイルス感染症に係る部分）

下記①から③までの全ての基準を満たす場合にレースを開催する。

①国内において、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されていないこと

②大分県知事による休業要請や外出自粛、感染拡大地域への移動自粛等の要請がなされていないこと

③政府が定める感染状況に関する各種基準等（※）、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能であると判断した場合

（※）下記の指標等を想定。

・大分県が、新型コロナウイルス患者用に確保した最大病床数の占有率が１／５未満

・大分県が、新型コロナウイルス患者のうち、重症者用に確保した最大病床数の占有率が１／５未満

・大分県内における新型コロナウイルスの療養者の総計が、人口10万人あたり15人未満（およそ170人）

・大分県内における直近一週間の新型コロナウイルス新規患者数が、人口10万人あたり7.5人未満（およそ85人）

⑵大会開催の基準（自然災害等に係る部分）

大会中止基準及び緊急時の対応等は、「大分車いすマラソン2020危機対応マニュアル」に基づき対応する。

なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12　実施種目及びコース

マラソン　　（42.195km）

大分市内（国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース）

ハーフマラソン（21.0975km）

大分市内（国際陸上競技連盟／日本陸上競技連盟公認コース）

13　参加資格

令和２年11月15日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。

【マラソン】

国内在住の身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者

【ハーフマラソン】

国内在住の身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者

（注意）

※その他、選手、介助者及び競技運営関係者（競技役員、ボランティア等）（以下、「選手及びスタッフ等」とする。）の大会への参加等を認める基準

選手及びスタッフ等については、下記①から③までの基準に１つでも該当する場合、参加を認めない。

①大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）に、体調管理チェックシートを提出できない場合

②体調管理チェックシートにおいて、直近２週間の間に感染疑い症状が見られる場合

③大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者

※選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。

※選手の介助を行う介助者については、選手１名につき１名までとする。なお、介助者に対しても体調管理チェックシートの提出を義務づける。

14　参加料

マラソン5,000円、ハーフマラソン1,000円とする。

※エントリー後、大会が中止になった場合は、振込手数料を除いた参加料を選手へ返金する。

15　競技規則

World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則）及び別に定める本大会競技注意事項等による。

参加するすべての選手に WPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16　クラス分け

⑴マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の３クラスに分ける。

⑵新型コロナウイルス感染防止対策として、大会前日のクラス分けは実施しない。

⑶クラス分けが必要な選手については、別途診断書等の提出を依頼し、クラス分け委員が電話、メール等の問診により判定する。

なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPA の国際クラスとしては承認されるものではない。

17　ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18　表　彰

⑴マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に１位から３位を表彰する。

⑵順位決定には、WPA における公認や選手登録の有無は影響しない。

19　申込方法

申込方法は以下のいずれかとする。

①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。

②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真２枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する（当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを１枚添付すればよい）。

①、②ともに、参加申込みの締切は、令和２年９月27日（日）までとする。

20　大会中止基準及び緊急時の対応

別に定める大分車いすマラソン2020危機対応マニュアルに基づき対応する。

21　競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする（健康保険証を持参すること）。

22　観戦及び応援の自粛

⑴新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、スタート地点(ウォーミングアップエリア含む)、コース付近、フィニッシュ地点(大分市営陸上競技場内)は無観客とする。(来賓・大会役員を除く。)

⑵コース付近における応援・観戦の自粛を要請する。

⑶フィニッシュ地点(大分市営陸上競技場内)への入場は、大会事務局が事前に発行したＡＤカードを着用した者のみ認めることとする。

23　コース走行車線

中央分離帯がなく、往路・復路で対面走行となる箇所（テクニカルコース）については、向かって中央線より左側（日本陸上競技連盟公認コース上）を走行すること。

安全、公平なレース運営を行う観点から、今大会からコース内にコーン・ミニコーン等を増設しているため、走行時には十分に注意すること。

24　健康管理

⑴選手及びスタッフ等の健康管理については、大会事務局が別途定める「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル（仮称）」（10月中旬頃公表）によるものとする。

⑵選手全員に対して、新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査を実施する。

25　選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

⑴競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。

⑵主催者は、選手及び競技運営関係者が新型コロナウイルス感染症等に感染した場合にあっては、いかなる責任も負わないこととする。

26　個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。

なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表、感染予防対策、並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

27　大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所 在 地　〒870-8501
大分市大手町３丁目１番１号
電話番号　097-533-6006
ＦＡＸ　097-506-1736
大分車いすマラソン2020事務局メールアドレス
kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
大分車いすマラソン2020ホームページ URL（アドレス）
www.kurumaisu-marathon.com

大分車いすマラソン2020　危機対応マニュアル

Ⅰ　趣旨

このマニュアルは、大分車いすマラソン2020の中止基準及び緊急事案発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

Ⅱ　大会中止基準

⑴大分地方気象台が、大分市に警報（大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮）を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
⑵県内で震度５強以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑶県内に津波警報（大津波）が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑷その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
⑸コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
⑹全国瞬時警報システム（Ｊアラート）が発令され安全確保ができないとき。
⑺国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等が発生したとき。
⑻ただし、上記⑴～⑺の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

Ⅲ　判断方法（レース前）

大会事務局により、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

①レース７日前
②レース前日　　午前10時
③レース当日　　午前４時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

Ⅳ　緊急事案発生時の対応

大会期間中に緊急事案が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

⑴想定される緊急事案の種類

事案の態様	種　別
自然災害	①風雨 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布（異臭騒ぎ含む） ⑩各事案の予告 ⑪不審物（者）の発見
大規模な事故	⑫爆発 ⑬火災 ⑭ガス漏れ ⑮水道管破裂 ⑯道路陥没 ⑰停電

⑵対処行動

緊急事案が発生した場合は、迅速かつ的確に以下の措置を講ずる。

ア　大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事案を正確に伝えるとともに、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ　選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ　救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防（救急隊）に引き継ぐものとする。

エ　避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ　スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員して大分市営陸上競技場又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

大分車いすマラソン2020競技注意事項

新型コロナウイルス感染拡大防止等を踏まえ、例年の大分国際車いすマラソンに比べ、大幅に変更をしている事項があります。
下記事項を熟読の上、遵守をお願いします。

本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の WPA 競技規則）及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

（以下、下線部は競技注意事項における昨年大会からの変更箇所）

1　本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
2　マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は３分とする（男女共通）。
3　競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない
4　競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
5　競技者は競技役員の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
6　本大会では、種目（マラソン・ハーフマラソン）、クラス又は性別の異なる選手の背後を５m 以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。
7　競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
8　競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準（スネル規格 b-84／90／95、BSI6863、EN1078等）を満たしていなければならない。
9　競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
10　競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可するが、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
11　審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
12　競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
13　競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
14　クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
15　本大会では、ドーピング検査を実施する。
16　関門の制限時間を次のとおり設ける。
（マラソンの部）
５km地点……30分00秒
15km地点……１時間00分00秒
30km地点……２時間00分00秒
フィニッシュ地点……３時間00分00秒
（ハーフマラソンの部）
５km地点……30分00秒
10km地点……57分00秒
15km地点……１時間27分00秒
フィニッシュ地点……２時間07分00秒
制限時間を超えた競技者は、関門に到達していなくても、直ちに収容車に収容する。
17　水の供給については、次のとおりとする。
⑴　給水所を次のとおり設ける。
マラソンの部……10km、20km、30km、40km地点付近
ハーフマラソンの部…10km、20km（マラソン40ｋm地点と兼ねる）地点付近
⑵　主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。
⑶　競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員の介助を受けてもよい。
⑷　各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。
希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。
18　車いすについては、次のとおりとする。
⑴　車いすは２つの大きな車輪と１つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
⑵　すべての車いすは、安全の目的から、機能的な（制動制御）ブレーキシステムを備えていなくてはならない。
⑶　車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ていてはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50㎝以内とする。
⑷　車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ていてはならない。
⑸　後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70㎝、50㎝を超えてはならない。
⑹　各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ１つ付けることができる。
ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば、片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。
⑺　車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
⑻　トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。
⑼　機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。
⑽　競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。

(11) フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
(12) 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
(13) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
(14) 車いす後部に転倒防止を目的としたキャスターの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51クラスのみ、取り付けを認める。

19 アスリートビブス（旧ナンバーカード）について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切ったり折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分を避けて穴をあけることは可能とする。

20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器（静止画、動画問わず）を持ち込んではならない。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレラインアップからフィニッシュエリア（芝生内）までの区域を指す。

21 下記については、助力行為とみなさずに許可する。
身体保護及び／あるいは医療目的のあらゆる身体保護具。（包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具。）
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似の機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

■新型コロナウイルス感染防止対策に係る事項

1 主催者が行う感染症予防対策への同意について
競技者及び大会関係者は、以下の(1)～(5)に同意のうえ、大会に参加すること。
(1) 主催者からの健康状態の確認（体調管理チェックシート等の提出、検温等）に応じる。（大会開催２週間前、大会当日、大会終了後２週間）
(2) 大会２週間前から大会当日までに、感染疑い症状の発症、PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応、感染者との濃厚接触があった場合、主催者に報告し、参加を辞退する。
(3) 大会当日に、発熱（37.0度以上）などの感染疑い症状がある場合、主催者は参加を認めない。
(4) マスクを持参し、レース中以外はマスクを着用し、各自が持ち帰り廃棄をする。（フェイスマスク（バフなど）の代用品を認める。）
(5) その他、主催者が定める「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル（仮称）」に従う。

2 競技者がスタートからレースに持ち込んだ飲料、または給水所にて受け取った水等を、他の競技者と共有し、回し飲みすることを禁止とする。

3 競技者が脱ぎ捨てた衣類、ボトル等は大会主催者にて廃棄をする。

以　上

（別紙）国際クラス分け表

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード５あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード０～３である。通常、体幹の筋力は機能しない。

肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に顎を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベルＣ５－６レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺-中等度（非対称性または対称性）の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立して車いすを推進することができる。

上肢－少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある痙性グレード２の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹－車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは２。

下肢－痙縮グレード３～４。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33と T34の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばやい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラス T33である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54のクラスと同じようなグローブテクニックを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベル Ｃ７－８と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺－中等度から重度。上肢と体幹の障害（制限と問題）は最小限で機能は良好。

上肢－上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみやすい握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード１～２。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹－痙縮グレード１～２。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良（poor）である。

下肢－中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは３～４。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かな動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル Ｔ１－７と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル Ｔ８－Ｓ４レベルと同等の活動制限がある。

（※）上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。
http://jaafd.org/contents/code/committee3

大分車いすマラソン2020開催に向けた基本方針

1．目的

この基本方針は、大分車いすマラソン2020を実施する際の、新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを踏まえた大会運営のあり方や、感染拡大を防止するために大会関係者が遵守すべき「大分車いすマラソン2020における新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル」の策定に際しての基本的な方向性を定めることを目的とする。

2．大会を実施する基準等

⑴大会開催の目安となる基準

下記①から③までの全ての基準を満たす場合にレースを開催する。

①国内において、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されていないこと

②大分県知事による休業要請や外出自粛、感染拡大地域への移動自粛等の要請がなされていないこと

③政府が定める感染状況に関する各種基準等（※）、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能であると判断した場合

（※）下記の指標等を想定。

・大分県が、新型コロナウイルス患者用に確保した最大病床数の占有率が１／５未満

・大分県が、新型コロナウイルス患者のうち、重症者用に確保した最大病床数の占有率が１／５未満

・大分県内における新型コロナウイルスの療養者の総計が、人口10万人あたり15人未満

・大分県内における直近一週間の新型コロナウイルス新規患者数が、人口10万人あたり7.5人未満

⑵大会開催の可否を判断するプロセス

諮問委員会は、９月下旬に開催（予定）する委員会において、県内における感染状況等を総合的に勘案し、上記の基準を踏まえた上で、大会の開催可否について、大会事務局に対し技術的助言を行う。

ただし、大会開催までに、上記⑴の基準を満たさなくなる、もしくはその可能性が高いと認められる場合には、委員長の判断において臨時の委員会を招集し、大会の開催可否について、再度事務局に対して技術的助言を行う。

⑶選手及びスタッフ等の大会への参加等を認める基準

選手及びスタッフ等については、下記①から⑤までの基準に１つでも該当する場合、参加を認めない。

①大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）に、体調管理チェックシート（後述）を提出できない場合

②体調管理チェックシートにおいて、直近の２週間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（以下、疑い症状と言う。）が見られる場合

③大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者

④レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において実施する検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合

⑤（選手のみ）レース前日に実施する新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査の結果が陽性であった場合

※選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。

※選手の介助を行う介助者については、選手１名につき１名までとする。なお、介助者に対しても体調管理チェックシートの提出を義務づける。

3．感染拡大防止のために行うこと

⑴観客の動員及び沿道からの応援

メイン会場となる市営陸上競技場においては、来賓や大会役員等を除き、観客を入場させない。また、沿道からの応援や声かけについては自粛を要請する。

⑵関係者全員の健康状態の管理

大会前後において適切な健康状態の管理を行うため、大会に関わる全ての者（選手、スタッフ、メディア等）に対し、開催前２週間の体調及び検温結果の報告並びに開催後２週間の体調管理・検温の義務を課す。

⑶レースの各段階における感染症予防策

（基本的な予防策）

・ソーシャルディスタンスを確保した動線の設定

・大会に関わる選手及びスタッフには、常時（選手においては、ウォームアップを含むレース中を除く）マスクの着用を義務付ける。

・受付等、選手とスタッフが対面で接触する場所には、アクリル板等を設置する。スポットが定まらずアクリル板等の設置が困難である場合、対応するスタッフは、フェイスシールドを併用する。

・各所に消毒用アルコールを設置し、こまめな手指消毒を義務付ける。

・大会関係者全員に AD カードを発行（事前申込制）し、属性ごとに立入可能エリアを限定する。

・全てのスタッフ等に対し、業務従事前の検温及び直前２週間の体調管理チェックシートの提出を義務付け、感染疑いのある場合は業務従事を認めない。（再掲）

・従来の業務を見直し、最低限の人数で対応できるよう、人員配置を再検討する。

・ボランティアを含むスタッフへの当日説明は最小限とし、人が密集する時間の低減を図る。（事前説明についても、オンラインを活用するなど最大限配慮する。）

（レース前日の選手受付）

・入口での検温で、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合は、速やかに隔離用設備に誘導する。

・会場が混雑しないよう、選手ごとに受付時間帯を指定する。

（手荷物・生活用車いすの受付→車いす検定、ロゴ・チップチェック）

・受付方法について、混雑が生じないよう見直しを行う。

・スタッフは、１人分の手荷物及び生活用車いすの受け取り及び引き渡しを行う都度、消毒用アルコールを用いた手指消毒を行う。

（ウォームアップ・ラインアップ）

・ウォームアップ中は他の選手への声掛け等を行わないよう、選手全員に呼びかける。

・ラインアップ時は、選手間の前後の間隔を1.5m以上確保する。

（レース中）

・故意に痰やつばを吐き出さないよう選手全員に呼びかける

・フィニッシュ後、他の選手との握手やハイタッチ、抱擁等の接触を行わないよう選手全員に呼びかける。

・レース途中で体調不良によりリタイアした選手に対しては、新型コロナウイルスの感染のおそれがあることを前提として、感染防護を徹底した医療スタッフによるサポートを行う。

（レース終了後）

・レース終了後は、表彰される選手を除き、速やかに競技場から退出させる。

・選手を搬送するシャトルバスを増便し、乗員同士の間隔を十分に開けるなど、車内が密状態とならないようにする。

・競技場内に落ちているゴミを回収するスタッフは、手袋を着用した上で火ばさみを使用するなど、ゴミに直接触れないようにする。

・表彰式及び閉会式は、簡素化する。

⑷メディアの感染防止策

取材当日に提出される体調管理チェックシートにおいて感染疑い症状が見られる場合や、取材当日の検温において37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合は取材を許可しない。

加えて、選手との適切な距離を保った取材可能エリアの設定、混雑を防止するための入場制限及び１社あたりの人数制限等を行う。

4．感染者（疑いを含む）が発生した場合等

⑴感染者（疑いを含む）が発生した場合

レース前日及び当日に、受付場所や競技場を含む大会実施エリアにおいて、新型コロナウイルスの感染が疑われる者が発生した場合、対象者に対し各エリアに設置する隔離用設備（テント等）内における一時的な待機を依頼する。

その後速やかに医師による診察を行い、その結果、検査の必要性が認められる場合は、保健所へ連絡の上、適切な方法で医療機関において検査を行う。

大会終了後２週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した者は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう義務づける。

※なお、大会関係者全員に対し、接触確認アプリ（COCOA）の事前インストールを呼びかける。

⑵医療体制について

大会事務局は、感染者（疑いを含む）が発生した場合に、必要な検査が滞りなく実施できるよう、また入院が必要な場合には速やかな受け入れが行われるよう、発生時の手順等について県福祉保健部健康づくり支援課等の関係機関と十分な事前協議及び確認を行う。

⑶感染者が発生した場合の情報発信の方法

県及び市の保健当局と協議の上、必要な情報については大会ホームページやプレス発表等による周知を行う。

選手及びスタッフに対しては、あらかじめ作成したメーリングリストを用いて、電子メールにより情報提供を行う。

大分車いすマラソン2020における新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル

目　次

はじめに

第１章　大会への参加を認める基準

第２章　大会に関わる方が留意すべきこと
⑴共通事項
⑵選手（介助者を含む）
⑶競技役員

第３章　感染拡大防止に向けた大会運営の方法
⑴観戦及び応援の自粛
⑵健康状態の管理
⑶場面ごとの感染予防策
1　共通事項
2　前日受付
3　ウォームアップ前
4　ウォームアップからラインアップまで
5　スタートからフィニッシュまで
6　フィニッシュ後
⑷メディアの感染予防策

第４章　感染者等が発生した場合の対応
⑴感染が疑われる者が発生した場合の対応
(i)スタート地点付近で発生した場合
(ii)競技場内で発生した場合
(iii)コース途中で発生した場合
(iv)前日受付会場で発生した場合
⑵感染者を確認した場合の対応
(i)選手を対象とした前日の検査において陽性者がいた場合
(ii)大会終了後２週間以内に感染の報告を受けた場合

（別紙１）体調管理チェックシート（大会前）
（別紙２）体調管理チェックシート（大会後）

はじめに

このマニュアルは、大分車いすマラソン2020を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するために、主催者が講じる対策の概要を示すとともに、参加ランナー、競技運営関係者、ボランティアスタッフ、地域住民等、大会に関係する全ての方々において、感染を防ぐための共通理解を持っていただくことを目的として作成しました。

本大会にご参加いただく上では、参加を認める基準を遵守していただくのは当然のことですが（第１章）、大会前後の行動を含む、対象者別の留意事項を事前にご確認いただくとともに（第２章）、主催者が講じる感染防止策や、感染疑い事例が発生した場合の対応などについても十分にご理解いただき（第３章、第４章）、安全・安心な大会を開催できるよう、皆様のご協力をお願いします。

参　考

・公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（令和２年５月29日改訂）
・スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（令和２年５月25日改訂）
・一般社団法人日本陸上競技連盟
「陸上競技活動再開のガイダンス」（令和２年６月11日）
「ロードレース再開のガイダンス」（令和２年８月11日改訂）
・一般社団法人日本パラ陸上競技連盟
「感染リスクを軽減させた競技会の運営について」（令和２年８月３日改訂）

第１章　大会への参加を認める基準

選手（介助者（※）を含む）及びスタッフ等（競技役員、ボランティアなど）については、下記①から⑤までの基準に１つでも該当する場合、大会への参加を認めない。

①レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）に、体調管理チェックシート（第３章⑵「健康状態の管理」を参照）を提出できない場合
②①の体調管理チェックシートにおいて、直近の２週間に、新型コロナウイルス感染症の疑い症状（以下、疑い症状と言う。）が見られる場合
③大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者
④レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において実施する検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合
⑤（選手のみ）レース前日に実施する新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査の結果が陽性であった場合
⑥その他、大会への参加が不適当であると大会事務局が判断した場合
（※）介助者については、選手１名につき１名までとする。
選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。

第２章　大会に関わる方が留意すべきこと

⑴共通事項
・「密閉空間」、「密集場所」、「密接場面」（以下、「３密」と言う。）を避けた行動を徹底すること。
・こまめな手洗いや手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
・マスクを着用し、咳やくしゃみをする際は、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにすること。
・大会開催の２週間前から終了後２週間にかけて、体調管理チェックシートを活用した体調管理及び検温を徹底すること。開催前２週間分の体調管理チェックシートについては、大会前日もしくは当日、受付で提出すること。※提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。
・大会終了後、２週間以内に疑い症状が見られた場合には、医療機関（かかりつけ医等）への相談・受診を行い、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合、速やかに大会事務局に報告すること。（大分車いすマラソン2020事務局：097-533-6006）
・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を事前にインストールしておくこと。
・大会開催の２週間前から、感染拡大地域への不要不急の移動は控えること。
・大会前後において、複数名での会食等は控えること。
・ホテルに宿泊する際はできるだけ個室を利用し、食事の形式は、個食など感染リスクが比較的低いとされるものを選択するよう心がけること。
・会場までの移動にはできるだけ自家用車を使用し、公共交通機関を使用する際は、マスクの着用や、ソーシャルディスタンスの確保等の感染対策を徹底すること。
・会場にはゴミ箱を設置しないので、ゴミは各自で持ち帰ること。

⑵選手（介助者を含む）
・車いす（生活用・競技用）や手荷物等、他者が触れる可能性がある持ち物は、こまめに消毒すること。
・ウォームアップは個別に行うこと。またマスク着用時以外の選手同士の会話は控えること。
・衣服等は脱ぎ捨てないこと。(回収した衣服等は、原則廃棄する。)
・競技中、つばや痰を吐く行為は極力行わないこと。
・他の選手との握手やハイタッチ、抱擁等の接触を行わないこと。
・（介助者）混雑防止のため、ウォームアップエリアへの立入は最小限にすること。

⑶競技役員
・個人防護具（マスク、フェイスシールド、使い捨てゴム手袋、ゴーグルや眼鏡（サングラス）等）を着用すること。(使い捨てゴム手袋は使用するごとに、交換又は消毒用アルコールを用いた消毒を行うこと。)
・用器具の共用はできるだけ避けること。やむを得ず使用した場合は用器具や手指の消毒を行うこと。

第３章　感染拡大防止に向けた大会運営の方法

⑴観戦及び応援の自粛

メイン会場となる大分市営陸上競技場（以下、競技場と言う。）においては、来賓や大会役員等を除き、無観客とする。また沿道からの観戦及び応援については、大会ホームページや当日のアナウンス等を通じて自粛を要請する。

⑵健康状態の管理
・選手（介助者を含む）、競技役員、ボランティア等、全ての大会関係者は、大会開催の２週間前から終了後２週間にかけて「体調管理チェックシート」（別紙１及び別紙２）を用いた健康管理および検温を行い、大会開催前２週間分の体調管理チェックシートについては、レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において提出すること。
・体調管理チェックシートが提出されない、又は適切に健康管理がされていないと大会事務局が判断した場合、当該者のレースへの出場又は業務への従事を認めない。
・提出された体調管理チェックシートにおいて、１つでも疑い症状が見られる場合、もしくは体調管理チェックシートの確認と併せて行う検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高熱であると認められる場合、当該者のレースへの出場又は業務への従事を認めない。
・競技役員やボランティア等においては、派遣元の組織において健康管理責任者を決め、体調管理チェックシートを集約し、報告することも可とする。
・レース前日、選手全員に対し、新型コロナウイルス感染症の感染の有無を判定する検査を実施する。

⑶場面ごとの感染予防策

1　共通事項
・「３密」を避け、ソーシャルディスタンスを確保した動線を設定する。
・全ての大会関係者に対し、常時（選手においては、ウォームアップを含むレース中を除く）マスクの着用を義務付ける。
・選手と密接に関わるスタッフ等は、フェイスシールドを併用する。また各種受付等、選手とスタッフ等が対面で接触する場所には、アクリル板等を設置する。
・各所に消毒用アルコールを設置し、こまめな手指消毒を呼びかける。またスタッフ等には携帯用の消毒用アルコールを１人につき１つ配布し、１人分の作業を終えるごとに手指消毒を行うことを義務付ける。
・大会関係者全員に AD カードを発行（事前申込制）し、その属性ごとに立入可能エリアを限定する。
・ボランティアを含むスタッフへの当日説明は最小限とし、人が密集する時間の低減を図る。(事前説明についても、オンラインを活用するなど最大限配慮する。)
・前日の受付会場、スタート地点周辺、競技場において、新型コロナウイルス感染症の感染疑い者を誘導する隔離用設備（テント等）を設置する。併せて、隔離用設備には医師、看護師等の医療スタッフを配置する。
・トイレの使用においては、石けん又は消毒液が常備されているか、ハンドドライヤーが使用中止になっているか等、事前に確認しておく。

2　前日受付

レース前日の選手受付では、選手とスタッフが対面で接する機会が多いため、マスクやフェイスシールドの着用等、飛沫予防等の基本的な対策を徹底するとともに、会場が混雑することのないよう、選手ごとに受付時間帯を指定するほか、適切な動線を設定するなどの対策を行う。

（主な対策）
・受付会場に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
・入口での検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、新型コロナ対応係が隔離用設備へ誘導する。
・選手ごとに受付時間帯を設定し、会場の混雑を防止する。
・実走を踏まえた当日のクラス分けは実施せず、事前にクラス分け委員が、診断書等を踏まえた判定を行う。

3　ウォームアップ前
レース当日は、まず最初に検温及び当日の体調を記録した体調管理チェックシートの確認を行う。その後手荷物等の受付やロゴチェック等を行う際は、選手、スタッフ及び審判員が接近することから、マスクやフェイスシールドの着用等、飛沫予防等の基本的な対策を徹底するとともに、受付会場の混雑防止に向けた対策を講じる。
（主な対策）
・スタート地点周辺に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
・会場での検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、新型コロナ対策係が隔離用設備に誘導する。
・会場が混雑しないよう、選手ごとに手荷物受付等の時間帯を指定する。
・手荷物及び生活用車いす受付ブースのスタッフは、１人分の手荷物及び生活用車いすの受取り及び引渡しを行うごとに、消毒用アルコールを用いた手指消毒を行う。
・選手とスタッフが接触する機会が多く、ブースが密状態になりやすいロゴチェックブースにおいて、テント間の距離を２m以上確保し、従事する審判員及び補助員の数を減らす。

4　ウォームアップからラインアップまで
通常大会では、ウォームアップにおいて、選手同士または選手と介助者等が近距離で会話をする様子が見られるため、ウォームアップ中の会話は控えるよう、事前及び当日に注意喚起する。また、プレラインアップ及びラインアップの配列においては、選手同士の距離を確保する。
（主な対策）
・ウォームアップエリアに給水ポイントを設置しない。
・ウォームアップ整理係は、ウォームアップ中の会話は控えるよう、選手に対し呼びかけを行う。また、ウォームアップエリアへの立入は最低限とするよう、介助者に対しても同様に呼びかける。
・プレラインアップ及びラインアップでは、列数を通常大会よりも減らすことにより、選手同士の間隔を前後左右1.5m以上確保する。
・整列位置の目印となる立看板等で代用することにより、選手の整列補助として配置していた審判員及びボランティアの数を減らす。

5　スタートからフィニッシュまで
レース中は、給水時の回し飲みを禁止するなど、感染リスクの低減に向けた基本的な対策を講じるとともに、体調不良者に対する介助等、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる選手との接触が想定される場面では、感染防護を徹底した医療スタッフが対応するなど、最大限のリスクマネジメントを行う。またコース配置員を各担当エリアに配置する際は、移送用バスの車内が密状態にならないよう、通常大会よりもバスを増車する。
（主な対策）
・レース中に選手が捨てた衣類やボトル等は、競技自主整理員がトング等を用いて回収し、原則として全て廃棄する。
・給水所にて受け取った水等を他の競技者と回し飲みすることを禁止する。
・コース上を走行する医務車を増車し、レース途中、体調不良によりリタイアした選手に対しては、新型コロナウイルス感染症の可能性を考慮し、感染防護を徹底した医師又は看護師が対応する。
・コース配置員や競技役員を担当エリアまで移送するバスを増車する。乗車率を50％以下とし、乗員同士の間隔を空けるよう呼びかける。

6　フィニッシュ後
フィニッシュ後の選手で競技場内が滞留することにより感染リスクが高まるのを防ぐため、入賞選手以外の選手は速やかに競技場からの退出を促し、競技場外に設置したテントにおいて更衣や休憩を行う（その際、選手同士のソーシャルディスタンスを十分に確保する。）。また、閉会式は実施せず、ドーピング検査では検査員の検温やフェイスシールド等の着用、検査室の換気等、基本的な感染予防策を徹底する。
（主な対策）
・競技場に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
・フィールド内整理係は、フィニッシュ後の選手に対し、速やかに競技場から退出するよう促す。（表彰される選手を除く。）
・閉会式を実施しない。
・各クラスの入賞選手に対する表彰は、随時大会役員からメダル及び企業賞を手渡すなど、簡易なものとする。その際、選手はマスク（フィニッシュ後に提供）を着用するとともに、大会役員はマスク及びフェイスシールドを着用する。
・選手をホテル等へ移送するバスを、乗車率が50％以下になるように増車し、乗員同士の間隔を空けるよう呼びかける。
・更衣用テントを競技場外に設置し、一度に入場できる人数を最大３名までに制限する。また、テント内における会話を控えるよう呼びかける。
・競技場内に落ちているゴミを回収する際はトングを使用し、ゴミに直接触れないようにする。

⑷メディアの感染予防策
・取材可能な人数を１社につき原則２名までとする。
・取材申込は全て事前申請制とし、報道関係者用の AD カードを事前に発行する。
・レース当日は、スタート地点（城址公園内）と競技場に報道受付を設置する。受付時に渡されるビブスを着用の上、それぞれの会場において指定されたエリア内で取材を行う。（詳細は、大会事務局の作成する「報道のしおり」を参照すること。）
・報道関係者に対しても、受付において検温及び体調管理チェックシートの確認を行う。検温の結果、37.0度以上または平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、受付において取材を認めない旨を通告する。
・スタート地点における選手への個別取材は禁止する。

第４章　感染者等が発生した場合の対応

⑴感染疑い者が発生した場合の行動
(i)スタート地点付近で発生した場合
①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良（明らかに該当しない外傷等を除く。以下同じ。）を申し出る者がいた場合、新型コロナ対応係は、速やかに隔離用設備へ誘導する。（体調チェックブースにおける検温の結果の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められた者については、隔離用設備において再度検温を行う。以下同じ。）
②スタート地点周辺道路の交通規制が行われていない場合、新型コロナ対応係は、大会事務局の定める後方支援病院（以下、後方支援病院と言う。）へ連絡し、受診調整を行う。その後、事務局が用意した車両により、対象者を後方支援病院へ移送する。なお、スタート地点周辺道路の交通規制が行われている場合、新型コロナ対応係は交通規制が解除されるまでの間、隔離用設備で待機するよう対象者に指示した上で受診調整を行う。交通規制解除後は、速やかに対象者の移送を行う。
③診察（問診）の結果、新型コロナウイルス感染症の感染のおそれがないと認められる場合でも、レースに向けた準備や業務への復帰等は認めない。
④対象者の退出後、新型コロナ対応係は隔離用設備内の消毒を行う。

(ii)競技場内で発生した場合
①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、新型コロナウイルス対応係は、速やかに隔離用設備へ誘導する。
②医師による診察（問診）の結果、より詳細な検査や治療の必要等があると認められる場合、新型コロナ対応係は、後方支援病院へ連絡し受診調整を行う。
③診察（問診）の結果、新型コロナウイルス感染症の感染のおそれがないと認められる場合でも、業務への復帰等は認めない。なお、その後も不調が続く場合は、競技場内の医務室で回復するまで安静にしてもらう。
④対象者の退出後、新型コロナ対応係は隔離用設備の消毒を行う。
⑤②において、対象者が自力で後方支援病院を受診することが困難な場合、後方支援病院へ移送する。（車両への誘導・乗降時の介助・医療機関までの運転は新型コロナ対応係が行う。）なお、車両を使用した場合は、新型コロナ対応係が車内を消毒し、次の対応に備える。

(iii)コース途中で発生した場合
①体調不良による選手のリタイア等が生じた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、各エリアの配置責任者は、大会本部に連絡し、現況を報告する。
②大会本部は、コースを走行する医務車に対し、現場への急行を指示する。（対象者が選手である場合は、併せて緊急対応車に対しても現場への急行を指示する。）
③医務車到着後、医務車に収容し競技場に搬送する。（対象者が選手である場合、競技用車いすは消毒の上、緊急対応車が収容する。）なお、対象者が重症である場合は、後方支援病院に直接搬送する事も検討する。
④競技場に搬送した後の手順は、(ii)に同じ。なお、使用した医務車は、乗員が適切な方法で消毒し、次の使用に備える。

(iv)前日受付会場で発生した場合
①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、速やかに隔離用設備へ誘導する。
②新型コロナ対応係は、後方支援病院へ連絡し受診調整を行い、事務局が用意した車両で対象者を後方支援病院へ移送する。
③診察（問診）の結果、感染のおそれがないと認められる場合でも、受付や業務への復帰等は認めない。
④対象者の退出後、新型コロナ対応係は隔離用設備の消毒を行う。

⑵感染者を確認した場合の対応
(i)選手を対象とした前日の検査において陽性者がいた場合
①検査実施機関から陽性者を確認した旨の報告を受けた場合、大会事務局は当該選手の氏名等、検査結果の詳細を検査実施機関に確認する。
②大会事務局は、①において確認した情報を、速やかに後方支援病院、大分県福祉保健部感染症対策課及び管轄保健所と共有する。
③後方支援病院の医師は、当該選手に連絡し、検査結果が陽性であった旨を伝えるとともに、感染症法に基づく届出を管轄保健所に提出する。
④大会事務局は当該選手に連絡し、「検査結果が陽性であるため、大会への参加を認めない。」旨を通告するとともに、直前数日間の行動について聴取する。
⑤④の結果、大会に参加予定の選手・介助者等の中に接触者がいた場合、大会事務局は当該者に連絡し、事実確認を行う。（陽性者との接触に伴い感染が疑われると事務局が判断した場合は、大会への参加を認めない事を通告する。）
※感染症法に基づく積極的疫学調査（濃厚接触者の有無の確認）は、管轄保健所が行う。入院等の調整は大分県福祉保健部感染症対策課が行う。

(ii)大会終了後２週間以内に感染の報告を受けた場合
①大会事務局は、大会終了後２週間以内に、医療機関又は大会関係者から新型コロナウイルス感染症の感染の報告を受けた場合、大分県福祉保健部感染症対策課に情報提供を行い、感染者が発生した旨の情報発信を行う必要性について協議する。（必要に応じて、感染症対策課から大分市保健所にも情報提供を行う。）
②①の協議結果を踏まえ、感染の事実を不特定多数の人に知らせる必要があると大会事務局が判断した場合、大会ホームページやプレス発表等による周知を行う。また、選手及びスタッフ等に対しては、あらかじめ作成したメーリングリストを用いて、メールにより情報提供を行う。なお、公表する場合は、その内容を含めて一般社団法人日本陸上競技連盟に事前に報告する。

（別紙１）体調管理チェックシート（大会前）

新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（大会前/提出用）

本チェックシートは、大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、出場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

・大会２週間前から記入し、大会当日の受付で提出してください。（選手及び介助者の方は、前日受付にて確認後返却しますので、翌日（11月15日）の体調を追記し、当日の受付でも提出してください。）
・症状に関して、該当に○印、他の症状がある場合は記入をしてください。（体温は0.1℃単位まで記入をしてください。）

日 付	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳（せき）が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常（味がしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常（匂いがしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

日 付	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳（せき）が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常（味がしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常（匂いがしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

氏名		連絡先		所属名	

裏面の同意書にも署名の上、提出してください。

令和２年　　月　　日

同 意 書

私は、以下（１）から（３）の全ての事項について同意の上、大分車いすマラソン２０２０に参加します。

（１）大分車いすマラソン２０２０の主催者が、参加者の新型コロナウイルス感染症への感染について責任を負わないこと

（２）高齢者及び基礎疾患を有する者にあっては、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、重症化リスクが高いことを認識していること

（３）若年者や基礎疾患を有しない者等であっても、新型コロナウイルス感染症に感染する可能性があることを認識していること

参加者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

代筆者氏名（自署）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（別紙２）体調管理チェックシート（大会後）

新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（大会後/保管用）

・症状に関して、該当に○印、他の症状がある場合は記入をしてください。（体温は0.1℃単位まで記入をしてください。）

日 付	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳（せき）が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常（味がしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常（匂いがしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

日 付	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	11月29日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳（せき）が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常（味がしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常（匂いがしない）	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

新型コロナウイルス感染症　相談・受診の目安
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html（厚生労働省HP）

【2020大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		広瀬勝貞
副会長	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会	会長	鳥原光憲
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田明美
副会長	大分市長		佐藤樹一郎
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野景一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会長	草野俊介
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会長	草野俊介
顧問	オムロン株式会社	代表取締役社長	山田義仁
顧問	一般財団法人大分陸上競技協会	会長	小手川強二
顧問	大分県教育委員会	教育長	工藤利明
顧問	大分市教育委員会	教育長	三浦享二
顧問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会長	麻生益直
顧問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会長	佐藤一夫
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理事長	長野健
顧問	社会福祉法人太陽の家	理事長	山下達夫
顧問	大分県警察本部	本部長	竹迫宜哉
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連隊長	中村英昭
参与	大分県土木建築部	部長	湯地三子弘
参与	大分県警察本部交通部	部長	木村浩和
参与	大分市土木建築部	部長	清水剛
参与	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	常務理事	山田登志夫
参与	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	理事・医学委員長	陶山哲夫
参与	大分合同新聞社	常務取締役新聞事業本部長	佐藤政昭
参与	別府重度障害者センター	所長	工藤裕司
委員長	大分県福祉保健部	部長	廣瀬高博
副委員長	大分市福祉保健部	部長	斉藤修造
副委員長	大分合同新聞社	常務執行役員マーケティング統括局長	児玉真路
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	理事長	稲津喜英
委員	大分県教育庁	体育保健課長	加藤寛章
委員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	後藤和樹
委員	大分県警察本部交通部	交通機動隊長	佐藤隆俊
委員	大分中央警察署	署長	工藤秀幸
委員	大分東警察署	署長	芹川俊彦
委員	大分市福祉保健部	障害福祉課長	永田浩貴
委員	大分市企画部スポーツ振興課	審議監兼スポーツ振興課長	三好正昭
委員	大分合同新聞社	マーケティング統括局イベント事業部長	髙屋康祐
委員	株式会社大分放送	常務取締役営業局長	砂原哲也
委員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務部長	原俊介
委員	大分県障害者スポーツ指導者協議会	会長	池部純政
委員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑聡
委員	社会福祉法人太陽の家	健康支援課長	神鳥澄男
委員	大分身体障害者陸上競技協会	会長	佐藤隆信
委員	通訳ボランティア Can-do	代表	後藤恵子
委員	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	医学委員	中村太郎

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate（技術代表）関　　幸生

【競技役員】(Race Officials)

（◎は主任）

総務	稲津　喜英			
総務員	原　俊介	上杉　貴志	町田　圭	
JPA－NTO	山田　昇	関根　春幸	吉田　徹	
技術総務	円本　宗秋	石橋　壽利	泥谷　和幸	宮川　剛
国際道路コース計測員	苅込　英昭			
ジュリー	宮田　英明（JPA から派遣）	岡松　眞明	河野　信治	舩越　武典
	下城　重喜			
審判長	田崎　弘宣（マラソン）	小俣　秀之（ハーフ）		
監察員	◎工藤　啓記（マラソンA）	渡邊　仙蔵（マラソンB）	阿南　憲治（マラソンC）	
	熊谷　明（マラソンD）	森﨑　宣和（マラソンE）		
	◎田中　義博（ハーフA）	渕　俊伸（ハーフB）	染矢　睦（ハーフC）	
決勝審判員	◎堤　紘一（マラソン）	西村　義弘	石井知由美	添田　順子
	◎羽田野明美（ハーフ）	西　親則	松崎　安男	石川　康壽
計時員	◎栗林　敏勝（マラソン）	井上　啓司	松浦　利美	高橋孝一郎
	◎増村　栄彦	甲斐　忠行	波多野正夫	三上　忠明
	橋本　孝之			
写真判定員	◎志賀　哲哉	三代　照良	中島　益章	
トランスポンダー係	◎渡邊　健太	石田　元彦		
スターター	◎榮木　一	田中　繁		
記録員	◎永松千恵子	秦　卓司	鳩野　美沙	
報道係	◎大西　竜一	德光　久	堀田　幸忠	
競技者係兼出発係	◎坂本　智美（マラソン）	山西　敏晴（兼）	安東　寿子	梶原　清美（兼）
	◎三代　寿子（ハーフ）	阿部　光佳	園田　明美	柳井　國明（兼）
	財津美紀夫（兼）	仲摩　勝春（兼）		
気象計測員	◎羽田野二郎			
役員係	◎安部　明美	藤井　宗隆	首藤　麻希	内田　貞美
	川野　智暖	児玉　和也		
マーシャル	◎中野　明美	長光　一則	山口　美利	
用器具係	◎柴山　広	大戸　功雄	森本　秀治	中村　健治
収容車係	◎足立　完治	日名子義生	河野　勝彦	
医務係	◎坂本真由美	若林為久子	吉川　弥生	
庶務係	首藤　昭光	小原　貴敬	荻野　智美	桑原　宗之
	佐藤翔太朗			
放送係	相原　望			
ドーピングコントロールオフィサー	◎堀之内弘恵	河野　昇治	佐藤　洋子	赤羽　友子
	大津　成夫			
シャペロン	◎伊東　清信	仲摩　昇		

関門役員

マラソン５km	◎川下喜代人	平山　勝治	鳴海きくみ	柴田　順子
ハーフ５km	◎甲斐　鉄朗	宅野　成喜	濱崎義日出	
第一折返し点	◎柴田　和己	藤田　義昭		
マラソン10km	◎山本　豊	坂巻　諄	井上　達夫	髙瀬　哲生
ハーフ10km	◎諸田　義信	川野　恵子	後藤　憲行	後藤　信徳
ハーフ第二折返し点	◎佐藤　吉明	竹内　邦弘		
マラソン15km	◎甲斐　強	判田　剛	菅田　俊介	財津　高喜
ハーフ15km	◎村西　栄二	飛田　祥子	後藤　信介	高瀬　政寛
マラソン20km	◎吉川　正文	須磨　長憙	井上淳之助	由迫　英恭
ハーフ20km	◎杉本　和之	佐藤　晃	中島　英利	工藤　武子
マラソン中間点	◎野田　一重	戸曽　正博		
25km	◎明石　敦郎	山口　計	長峰　徳幸	浅野佳代子
マラソン第二折返し点	◎三嶋　一哲	河津　智顕		
30km	◎足立　達哉	近藤めぐみ	神崎　真一	立川三枝子
35km	◎板井　新一	東本　孝	明石　哲也	奥下　美保
40km	◎櫻井　貢	上久保陽子	工藤　早苗	川村　英子

給水係　◎宮脇　清夫

10km	◎横濱　正	梶原　五男	藤沢　利光
20km（マラソン）	◎溝口　誠志	小野　浩之	野田　浩
30km	◎武石　弘志	久寿米木雄二	
40km	◎油布　晋一	武内　三朗	

走路審判員　◎柴北　育昌

スタート地点付近(兼務)	山西　敏晴（兼）	柳井　國明（兼）	財津美紀夫（兼）
	仲摩　勝春（兼）	梶原　清美（兼）	
城崎交差点	高司浩一郎	石丸　玲子	
津留交差点	副田　博文	佐藤　陽子	
商業高校前交差点	飯干　順一	中村　政子	
中島十条交差点	川津　一		
新川交差点	岳尾　元勝	山田　義高	
浜町交差点	國廣　幸子	倉野　浩成	
春日浦交差点	高瀬　亮太		
王子町交差点	姫野　昭彦	後藤こずえ	
日本製鉄前交差点	小間　敏子		
三海橋西交差点	新貝　隆		
三海橋東交差点	新宮　眞二		
三佐田交差点	酒井　宏	染矢　雄二	
下鶴崎交差点	吉原誠一郎	佐藤　重康	
住友化学前	簀河原　幹		
鶴崎家電前	衛藤　昭		
下鶴崎ちびっこ公園前	楢木野愛理		
茶寮倉掛前	桑原　昇造		
プレミール鶴崎前	竹丸由香里		
プレミール鶴崎先駐車場前	三宅美智子		
住化南門	赤崎　惣		
鶴崎機械工業所前	財津　廣記		
佐藤塗工前	小俣賢二郎		
矢野コーポ前	桃田　結香		
徳島ガード下	後藤　大輔	日髙　千紘	上久保　晃
グレード藤沢前	渡邉　和也		
阿部食糧前	川上　末喜		
小中島郵便局前	小山　建		
ダイニチテック前	後藤　博文	高山　定	
小中島天満神社前	宮川喜久生		
日豊運送前	西山　祐一		
日豊運送先	拂川　真寿	山本　利光	
王子マテリア前	大庭　恵一	川野奈緒美	
晃栄産業前	金丸　和浩		
家島カーブ（朝日工業前～）	柳井　幸子	長野由美子	原田　枝美
平和ハウス前	後藤　和久		
大野川大橋入口交差点	中島　祥子	岩尾　雅弘	
大分医療センター入口交差点	小野　千里		
竹下入口交差点	黄　壮大		
久原入口交差点	丸尾　直彦		
大在公共ふ頭入口交差点	鳥倉　秀聖		

大分車いすマラソン2020　スケジュール

時　刻	11月14日（土）	11月15日（日）
8:00		00 **ウォームアップ**
9:00	00 **選手受付** (大分県庁舎本館)	25　選手整列開始 40　交通規制開始 57　スタート地点整列完了
10:00		00　**マラソンスタート** 03　**ハーフマラソンスタート** 45　ハーフ　トップフィニッシュ見込
11:00		20　マラソン　トップフィニッシュ見込
12:00	00 30　**有力選手記者会見** (大分県庁舎) 00	10　ハーフ　フィニッシュ地点閉鎖
13:00		00　マラソン　フィニッシュ地点閉鎖
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		
20:00		

スタート次第

令和２年11月15日（日）大分県庁前

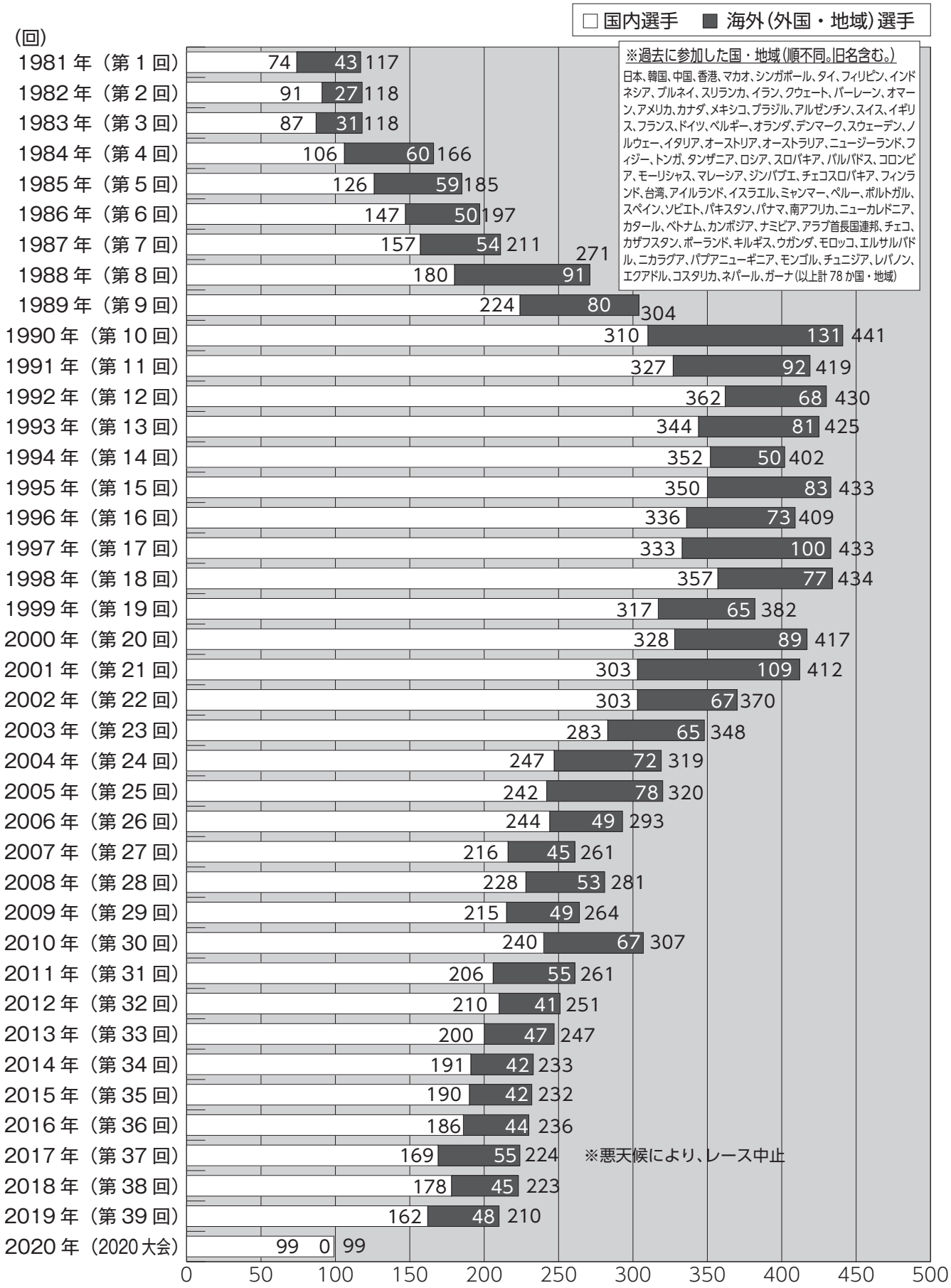
時　刻	式　次　第	備　　考
8：00	1　ウォームアップ開始	
9：25	2　ウォームアップ終了	
9：25	3　選手整列開始	
9：35	4　スタート地点交通規制開始	
9：45	5　選手整列完了	
9：50	6　スタート地点選手誘導開始	
9：57	7　選手ラインアップ完了	
10：00	8　マラソンスタート	
10：03	9　ハーフマラソンスタート	

○入賞選手の企業賞について

オムロン株式会社より
“オムロン杯”をマラソン T34/53/54男子の１位選手へ授与

新日本製薬株式会社より
“パーフェクトワン”をマラソン T34/53/54女子の１位～３位選手へ授与

参加者数の推移



※2020大会までの参加延べ人数［国内選手 9,220人／国外（外国・地域）選手 2,477人＝合計 11,697人］（37回含む）

年／大会		国内									
		ハーフマラソン			マラソン			合計			参加都道府県数
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第１回大会	72	2	74			0	72	2	74	14
1982年	第２回大会	86	5	91			0	86	5	91	19
1983年	第３回大会	42	4	46	40	1	41	82	5	87	22
1984年	第４回大会	60	2	62	41	3	44	101	5	106	26
1985年	第５回大会	79	2	81	44	1	45	123	3	126	27
1986年	第６回大会	91	5	96	49	2	51	140	7	147	25
1987年	第７回大会	84	4	88	66	3	69	150	7	157	29
1988年	第８回大会	101	7	108	71	1	72	172	8	180	26
1989年	第９回大会	117	13	130	92	2	94	209	15	224	36
1990年	第10回記念大会	155	20	175	130	5	135	285	25	310	41
1991年	第11回大会	173	19	192	130	5	135	303	24	327	41
1992年	第12回大会	199	23	222	136	4	140	335	27	362	43
1993年	第13回大会	183	15	198	143	3	146	326	18	344	43
1994年	第14回大会	186	14	200	148	4	152	334	18	352	43
1995年	第15回大会	176	10	186	161	3	164	337	13	350	43
1996年	第16回大会	164	10	174	160	2	162	324	12	336	44
1997年	第17回大会	168	15	183	147	3	150	315	18	333	43
1998年	第18回大会	173	16	189	165	3	168	338	19	357	43
1999年	第19回大会	165	15	180	134	3	137	299	18	317	42
2000年	第20回記念大会	172	16	188	136	4	140	308	20	328	40
2001年	第21回大会	162	15	177	122	4	126	284	19	303	40
2002年	第22回大会	162	15	177	123	3	126	285	18	303	41
2003年	第23回大会	161	12	173	104	6	110	265	18	283	37
2004年	第24回大会	131	11	142	101	4	105	232	15	247	39
2005年	第25回大会	123	14	137	103	2	105	226	16	242	39
2006年	第26回大会	146	13	159	83	2	85	229	15	244	39
2007年	第27回大会	128	12	140	73	3	76	201	15	216	36
2008年	第28回大会	136	14	150	76	2	78	212	16	228	38
2009年	第29回大会	136	11	147	66	2	68	202	13	215	37
2010年	第30回記念大会	144	13	157	81	2	83	225	15	240	37
2011年	第31回大会	128	7	135	68	3	71	196	10	206	37
2012年	第32回大会	134	7	141	64	5	69	198	12	210	37
2013年	第33回大会	131	10	141	55	4	59	186	14	200	37
2014年	第34回大会	128	11	139	49	3	52	177	14	191	32
2015年	第35回大会	133	12	145	43	2	45	176	14	190	32
2016年	第36回大会	141	11	152	33	1	34	174	12	186	31
2017年	第37回大会※	127	7	134	33	2	35	160	9	169	31
2018年	第38回大会	130	10	140	37	1	38	167	11	178	29
2019年	第39回大会	111	11	122	37	3	40	148	14	162	29
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	23
大会合計		5, 311	437	5, 748	3, 364	108	3, 472	8, 675	545	9, 220	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		海外									
		ハーフマラソン			マラソン			合計			海外参加国数
		男	女	小計	男	女	小計	男	女		
1981年	第１回大会	38	5	43			0	38	5	43	13
1982年	第２回大会	24	3	27			0	24	3	27	12
1983年	第３回大会	14	1	15	14	2	16	28	3	31	13
1984年	第４回大会	25	3	28	26	6	32	51	9	60	21
1985年	第５回大会	33	5	38	20	1	21	53	6	59	19
1986年	第６回大会	24	3	27	20	3	23	44	6	50	18
1987年	第７回大会	22	3	25	25	4	29	47	7	54	19
1988年	第８回大会	44	14	58	31	2	33	75	16	91	30
1989年	第９回大会	30	14	44	34	2	36	64	16	80	24
1990年	第10回記念大会	43	17	60	65	6	71	108	23	131	36
1991年	第11回大会	43	8	51	38	3	41	81	11	92	32
1992年	第12回大会	33	7	40	26	2	28	59	9	68	29
1993年	第13回大会	43	3	46	32	3	35	75	6	81	31
1994年	第14回大会	26	5	31	17	2	19	43	7	50	26
1995年	第15回大会	39	10	49	31	3	34	70	13	83	41
1996年	第16回大会	33	8	41	30	2	32	63	10	73	32
1997年	第17回大会	40	8	48	46	6	52	86	14	100	27
1998年	第18回大会	31	9	40	32	5	37	63	14	77	26
1999年	第19回大会	31	3	34	30	1	31	61	4	65	25
2000年	第20回記念大会	47	7	54	28	7	35	75	14	89	29
2001年	第21回大会	49	6	55	46	8	54	95	14	109	27
2002年	第22回大会	26	5	31	33	3	36	59	8	67	26
2003年	第23回大会	21	3	24	36	5	41	57	8	65	19
2004年	第24回大会	24	8	32	36	4	40	60	12	72	17
2005年	第25回大会	26	9	35	40	3	43	66	12	78	19
2006年	第26回大会	16	5	21	24	4	28	40	9	49	15
2007年	第27回大会	14	2	16	25	4	29	39	6	45	14
2008年	第28回大会	15	1	16	30	7	37	45	8	53	14
2009年	第29回大会	16	2	18	28	3	31	44	5	49	15
2010年	第30回記念大会	22	3	25	38	4	42	60	7	67	19
2011年	第31回大会	16	2	18	32	5	37	48	7	55	15
2012年	第32回大会	12	2	14	24	3	27	36	5	41	13
2013年	第33回大会	12	3	15	27	5	32	39	8	47	15
2014年	第34回大会	8	5	13	25	4	29	33	9	42	13
2015年	第35回大会	8	2	10	27	5	32	35	7	42	14
2016年	第36回大会	19	2	21	19	4	23	38	6	44	14
2017年	第37回大会※	14	7	21	25	9	34	39	16	55	15
2018年	第38回大会	13	2	15	23	7	30	36	9	45	15
2019年	第39回大会	7	1	8	34	6	40	41	7	48	18
2020年	2020大会	―	―	―	―	―	―	―	―	―	0
大会合計		1, 011	206	1, 207	1, 117	153	1, 270	2, 118	359	2, 477	

※第37回大会は悪天候により、レース中止

年／大会		合計									参加国数	協賛スポンサー
		ハーフマラソン			マラソン			合計				
		男	女	小計	男	女	小計	男	女			
1981年	第１回大会	110	7	117	0	0	0	110	7	117	14	3(3)
1982年	第２回大会	110	8	118	0	0	0	110	8	118	13	1(0)
1983年	第３回大会	56	5	61	54	3	57	110	8	118	14	1(0)
1984年	第４回大会	85	5	90	67	9	76	152	14	166	22	4(3)
1985年	第５回大会	112	7	119	64	2	66	176	9	185	20	4(1)
1986年	第６回大会	115	8	123	69	5	74	184	13	197	19	2(0)
1987年	第７回大会	106	7	113	91	7	98	197	14	211	20	3(0)
1988年	第８回大会	145	21	166	102	3	105	247	24	271	31	9(5)
1989年	第９回大会	147	27	174	126	4	130	273	31	304	25	6(0)
1990年	第10回記念大会	198	37	235	195	11	206	393	48	441	37	13(7)
1991年	第11回大会	216	27	243	168	8	176	384	35	419	33	17(4)
1992年	第12回大会	232	30	262	162	6	168	394	36	430	30	17(0)
1993年	第13回大会	226	18	244	175	6	181	401	24	425	32	18(2)
1994年	第14回大会	212	19	231	165	6	171	377	25	402	27	18(1)
1995年	第15回大会	215	20	235	192	6	198	407	26	433	42	20(2)
1996年	第16回大会	197	18	215	190	4	194	387	22	409	33	22(2)
1997年	第17回大会	208	23	231	193	9	202	401	32	433	28	22(2)
1998年	第18回大会	204	25	229	197	8	205	401	33	434	27	21(0)
1999年	第19回大会	196	18	214	164	4	168	360	22	382	26	22(1)
2000年	第20回記念大会	219	23	242	164	11	175	383	34	417	30	24(1)
2001年	第21回大会	211	21	232	168	12	180	379	33	412	28	24(1)
2002年	第22回大会	188	20	208	156	6	162	344	26	370	27	22(0)
2003年	第23回大会	182	15	197	140	11	151	322	26	348	20	19(0)
2004年	第24回大会	155	19	174	137	8	145	292	27	319	18	16(0)
2005年	第25回大会	149	23	172	143	5	148	292	28	320	20	16(2)
2006年	第26回大会	162	18	180	107	6	113	269	24	293	16	17(3)
2007年	第27回大会	142	14	156	98	7	105	240	21	261	15	17(1)
2008年	第28回大会	151	15	166	106	9	115	257	24	281	15	18(1)
2009年	第29回大会	152	13	165	94	5	99	246	18	264	16	14(0)
2010年	第30回記念大会	166	16	182	119	6	125	285	22	307	20	18(4)
2011年	第31回大会	144	9	153	100	8	108	244	17	261	16	17(0)
2012年	第32回大会	146	9	155	88	8	96	234	17	251	14	17(1)
2013年	第33回大会	143	13	156	82	9	91	225	22	247	16	17(0)
2014年	第34回大会	136	16	152	74	7	81	210	23	233	14	19(2)
2015年	第35回大会	141	14	155	70	7	77	211	21	232	15	22(3)
2016年	第36回大会	160	13	173	52	5	57	212	18	230	15	26(5)
2017年	第37回大会※	141	14	155	58	11	69	199	25	224	16	26(2)
2018年	第38回大会	143	12	155	60	8	68	203	20	223	16	33(10)
2019年	第39回大会	118	12	130	71	9	80	189	21	210	19	36(7)
2020年	2020大会	73	4	77	20	2	22	93	6	99	1	31(1)
大会合計		6,312	643	6,955	4,481	261	4,742	10,793	904	11,697		※(うち新規)

※第37回大会は悪天候により、レース中止

歴代優勝者とその記録

★世界記録　＊大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男	子	女	子	男	子	女	子
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	— — —	— — —	— — —	— — —	ゲオルグ・フロイント オーストリア 1°01′46″	宇田津　幸男 大阪府 1°12′42″	マーシャ・ビバード アメリカ 1°21′43″	中村　広美 鹿児島県 1°45′20″
第2回	— — —	— — —	— — —	— — —	リック・ハンセン カナダ 58′30″	松井　順一 長野県 1°08′05″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°13′26″	坂元　りつ子 大阪府 1°35′56″
第3回	グレコール・ゴロンベック 西ドイツ 2°07′54″	山本　行文 大分県 2°22′20″	キャンディス・ケーブル アメリカ 2°35′48″	— — —	ポール・ファン・ウィンケル ベルギー 1°05′24″	永尾　嘉章 兵庫県 1°17′57″	幸塚　直子 石川県 1°27′53″	— — —
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°48′25″	山本　行文 大分県 2°00′47″	キャンディス・ケーブル アメリカ 2°21′09″	幸塚　直子 石川県 2°38′14″	メシャリ・アル・オタイビ クウェート 58′33″	永尾　嘉章 兵庫県 1°06′33″	ピン・チョー 香港 1°21′28″	岩田　いつ子 愛知県 1°27′24″
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°49′46″	山本　行文 大分県 2°00′48″	ガブリエル・シルト スイス 2°46′42″	— — —	ウリエル・デ・マルチネス・メンデス メキシコ 59′39″	宮居　昌彦 和歌山県 1°07′36″	シャロン・フレネット アメリカ 1°14′58″	多智　利枝 東京都 1°24′35″
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°45′36″	山本　行文 熊本県 1°50′05″	アンジェラ・イエリティ カナダ 1°58′51″	多智　利枝 東京都 3°02′16″	林　誠二 大阪府 1°00′47″	— — —	カレン・ウィルソン イギリス 1°20′38″	岩田　いつ子 愛知県 1°22′51″
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1°44′18″	山本　行文 熊本県 1°53′36″	アンジェラ・イエリティ カナダ 2°04′31″	岩田　いつ子 愛知県 2°42′22″	サウル・メンドーサ メキシコ 56′20″	伊藤　平太 佐賀県 1°02′16″	坂内　留美 東京都 1°19′09″	— — —
第8回	ポール・クラーク カナダ 1°38′27″	山本　行文 熊本県 1°42′42″	コニー・ハンセン デンマーク 2°05′28″	— — —	マヌエル・カサス メキシコ 55′22″	竹村　克明 埼玉県 1°04′06″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 1°09′20″	坂内　留美 東京都 1°15′40″
第9回	ムスタファ・バディ フランス 1°40′45″	山本　行文 熊本県 1°43′21″	ジャネット・ジャンセン オランダ 1°48′45″	坂内　留美 東京都 2°49′09″	ラジャ・シン シンガポール 52′58″	山田　和宏 岡山県 1°01′58″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 58′57″	畑中　和 兵庫県 1°06′45″
第10回	ハインツ・フライ スイス 1°39′35″	山口　悟志 大阪府 1°47′07″	ジャネット・ジャンセン オランダ 1°47′09″	長谷川　尚美 兵庫県 1°51′31″	ロベルト・フィグル ドイツ 48′26″	須田　伸太郎 山形県 57′06″	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1°00′03″	伊藤　由美 東京都 1°07′10″
第11回	ハインツ・フライ スイス 1°35′46″	川島　誉 和歌山県 1°45′44″	コニー・ハンセン デンマーク 1°47′45″	畑中　和 兵庫県 2°02′10″	サウル・メンドーサ メキシコ 49′42″	中田　達也 京都府 55′19″	イングリッド・ラオリッツエン デンマーク 1°01′54″	伊藤　由美 東京都 1°07′49″
第12回	クーリッジ・スチャポート 南アフリカ 1°35′47″	山本　行文 熊本県 1°43′29″	リリー・アングレニー ドイツ 1°48′35″	畑中　和 兵庫県 1°54′28″	ジェイコブ・ヘイルヴェイル アメリカ 53′47″	山見　誠治 福岡県 53′47″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57′06″	藤原　志保 静岡県 1°06′24″
第13回	ハインツ・フライ スイス 1°34′35″	中村　博之 大阪府 1°39′56″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°52′06″	畑中　和 兵庫県 1°56′34″	ホルヘ・ルヤ・ゼペダ メキシコ 47′04″	野沢　英二 青森県 50′32″	南野　教子 福岡県 1°08′02″	— — —
第14回	ハインツ・フライ スイス 1°30′54″	室塚　一也 北海道 1°39′09″	シャンタル・プティクレー カナダ 2°01′58″	南野　教子 福岡県 2°27′35″	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48′07″	野沢　英二 青森県 53′05″	ドラ・ガルシア・エストラーダ メキシコ 1°05′14″	藤原　志保 静岡県 1°07′52″
第15回	ハインツ・フライ スイス 1°22′38″	室塚　一也 北海道 1°30′54″	畑中　和 兵庫県 1°44′36″	— — —	エリック・ナイツェル アメリカ 46′32″	野沢　英二 青森県 49′59″	コニー・ハンセン デンマーク 55′19″	櫻田　陽子 神奈川県 59′05″
第16回	ハインツ・フライ スイス 1°24′24″	廣道　純 兵庫県 1°31′12″	ルイーズ・サヴァージュ オーストラリア 1°45′03″	畑中　和 兵庫県 1°48″08′	エリック・ナイツェル アメリカ 47′12″	西田　聡 長崎県 47′16″	土田　和歌子 東京都 55′30″	— — —
第17回	ハインツ・フライ スイス 1°24′49″	室塚　一也 北海道 1°31′34″	畑中　和 兵庫県 1°39′40″	— — —	アアロン・ゴルディアン メキシコ 45′57″	野沢　英二 青森県 51′41″	奥山　京子 山形県 54′40″	— — —
第18回	ハインツ・フライ スイス 1°26′55″	室塚　一也 北海道 1°34′51″	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1°51′36″	土田　和歌子 東京都 1°56′34″	エクトル・エルナンデス メキシコ 46′37″	渡辺　幹司 大分県 46′40″	アリアデン・エルナンデス メキシコ 56′16″	高良　依子 沖縄県 1°00′01″
第19回	ハインツ・フライ スイス ★1°20′14″	室塚　一也 北海道 1°31′55″	畑中　和 兵庫県 1°44′31″	— — —	藤川　泰博 兵庫県 46′50″	— — —	グニラ・ワレングレン スウェーデン 51′30″	川島　由美 愛知県 57′09″
第20回	ハインツ・フライ スイス 1°22′03″	室塚　一也 北海道 1°30′32″	畑中　和 兵庫県 1°42′53″	— — —	エクトル・エルナンデス メキシコ 46′40″	藤田　英二 山口県 46′41″	土田　和歌子 東京都 ＊49′36″	— — —
第21回	ハインツ・フライ スイス 1°22′20″	廣道　純 大分県 1°29′38″	土田　和歌子 東京都 1°38′32″	— — —	渡辺　習輔 大分県 45′01″	— — —	長澤　麻子 山梨県 1°02′16″	— — —
第22回	ハインツ・フライ スイス 1°25′46″	廣道　純 大分県 1°30′20″	土田　和歌子 東京都 1°44′39″	— — —	ポール・ナナリー オーストラリア 47′04″	寒川　進 京都府 47′05″	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 58′03″	小峯　直美 愛知県 1°03′30″
第23回	ジョエル・ジャノ フランス 1°25′43″	クルンゲルン・ブランチョーク 大分県 1°29′59″	土田　和歌子 東京都 1°40′01″	— — —	渡辺　習輔 大分県 44′37″	— — —	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 1°00′59″	小峯　直美 愛知県 1°03′16″

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録　＊大会記録

	男子			女子			国内１位
	T51	T52	T53／54	T51	T52	T53／54	
第24回	完走者なし	吉本　茂 長野県 2°04′07″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°28′03″	出走者なし	ﾘｻ・ﾏﾘｰ・ﾌﾗﾝｸｽ カナダ 2°10′27″	ダイアン・ロイ カナダ 1°52′25″	笹原　廣喜 大分県 1°28′31″
第25回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°39′46″	伊藤　智也 三重県 2°00′02″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°26′37″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°19′36″	ダイアン・ロイ カナダ 1°46′07″	笹原　廣喜 大分県 1°26′41″
第26回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°36′24″	伊藤　智也 三重県 1°52′36″	笹原　廣喜 大分県 1°24′15″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°17′49″	畑中　和 兵庫県 1°39′28″	笹原　廣喜 大分県 1°24′15″
第27回	ﾊｲﾝﾘｯﾋ・ｸｰﾍﾞｰﾙ ドイツ 2°40′09″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン ＊1°43′46″	ｴﾚﾝｽﾄ・ﾌｧﾝ ﾀﾞｲｸ 南アフリカ 1°23′22″	出走者なし	八巻　智美 福島県 2°09′50″	土田　和歌子 東京都 1°38′55″	山本　浩之 福岡県 1°23′22″
第28回	完走者なし	上与那原　寛和 沖縄県 1°47′17″	ハインツ・フライ スイス 1°26′06″	出走者なし	八巻　智美 福島県 ★2°07′28″	ｱﾏﾝﾀﾞ・ﾏｸｸﾞﾛｰﾘｰ アメリカ 1°43′33″	副島　正純 福岡県 1°27′36″
第29回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°47′37″	ハインツ・フライ スイス 1°25′46″	出走者なし	ﾐｼｪﾙ・ｽﾃｲｳｪﾙ カナダ 2°21′16″	土田　和歌子 東京都 1°39′35″	山本　浩之 福岡県 1°26′12″

	男子			女子			国内１位
	T51	T33／52	T34／53／54	T51	T33／52	T34／53／54	
第30回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°32′36″	上与那原　寛和 沖縄県 1°50′22″	マルセル・フグ スイス 1°23′28″	出走者なし	ﾐｼｪﾙ・ｽﾃｲｳｪﾙ カナダ 2°30′52″	ｱﾏﾝﾀﾞ・ﾏｸｸﾞﾛｰﾘｰ アメリカ 1°44′38″	洞ノ上　浩太 福岡県 1°23′30″
第31回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°50′25″	マルセル・フグ スイス 1°24′55″	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1°45′37″	樋口　政幸 長野県 1°24′55″
第32回	井上　聡 愛媛県 2°59′13″	高田　稔浩 福井県 2°00′05″	マルセル・フグ スイス 1°25′08″	出走者なし	出走者なし	土田　和歌子 東京都 1°43′10″	山本　浩之 福岡県 1°30′09″
第33回	ｽﾃﾌｧﾝ・ｽﾄﾛｰﾍﾞﾙ ドイツ 2°37′15″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°46′09″	マルセル・フグ スイス 1°23′49″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°38′07″	山本　浩之 福岡県 1°28′38″
第34回	完走者なし	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°47′29″	マルセル・フグ スイス 1°21′40″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°38′42″	山本　浩之 福岡県 1°28′27″
第35回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°39′52″	ｻﾝﾃｨｱｺﾞ・ｻﾝﾂ スペイン 1°48′01″	マルセル・フグ スイス 1°24′53″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス 1°40′46″	山本　浩之 福岡県 1°25′15″
第36回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°30′53″	佐藤　友祈 岡山県 1°49′32″	山本　浩之 福岡県 1°26′02″	出走者なし	出走者なし	喜納　翼 沖縄県 1°44′56″	山本　浩之 福岡県 1°26′02″
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ 2°37′06″	佐藤　友祈 岡山県 1°47′57″	マルセル・フグ スイス 1°23′59″	出走者なし	出走者なし	喜納　翼 沖縄県 1°39′36″	鈴木　朋樹 千葉県 1°24′00″
第39回	ﾋﾟｰﾀｰ・ﾄﾞｳ・ﾌﾟﾚｱ 南アフリカ ＊2°27′07″	上与那原　寛和 沖縄県 1°53′04″	マルセル・フグ スイス 1°22′51″	出走者なし	出走者なし	マニュエラ・シャー スイス ★1°35′42″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′55″
2020	出走者なし	佐藤　友祈 岡山県 1°49′29″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′02″	出走者なし	出走者なし	土田　和歌子 東京都 1°39′42″	鈴木　朋樹 東京都 1°22′02″

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

★世界記録　＊大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53／54	T51	T52	T53／54
第24回	濱添　要 大分県 1°49′31″	吉野　真旨 兵庫県 1°07′04″	渡辺　習輔 大分県 46′05″	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2°07′16″	川島　由美 兵庫県 54′33″
第25回	濱添　要 長崎県 1°34′05″	森島　英樹 兵庫県 1°11′16″	渡辺　習輔 大分県 47′17″	完走者なし	要田　美紀 東京都 1°16′16″	川島　由美 兵庫県 54′56″
第26回	濱添　要 長崎県 1°32′51″	上与那原　寛和 沖縄県 53′59″	吉田　高志 大分県 45′06″	完走者なし	要田　美紀 東京都 1°13′29″	リュー・ウェン・ユン 中国 53′55″
第27回	濱添　要 長崎県 1°32′56″	森島　英樹 兵庫県 1°05′53″	吉田　高志 大分県 45′24″	完走者なし	佐藤　由加 岡山県 1°12′57″	宮本　美紀 岡山県 1°00′55″
第28回	濱添　要 長崎県 1°36′26″	浜上　悟 石川県 1°04′00″	渡辺　習輔 大分県 46′51″	完走者なし	佐藤　由加 岡山県 1°12′37″	髙嵜　瑞喜 東京都 1°02′12″
第29回	濱添　要 長崎県 1°36′29″	松本　直幸 福岡県 1°07′38″	西原　宏明 京都府 45′21″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′58″	リュー・ウェン・ユン 中国 55′17″

	男子			女子			新人賞
	T51	T33／52	T34／53／54	T51	T33／52	T34／53／54	
第30回	濱添　要 長崎県 1°31′31″	佐藤　仁志 岡山県 1°10′14″	渡辺　習輔 大分県 45′11″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°12′11″	マニュエラ・シャー スイス 54′33″	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1°30′46″	デュアン・モロー アメリカ 1°06′31″	リチャード・コールマン オーストラリア 48′10″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°10′16″	マニュエラ・シャー スイス 56′58″	
第32回	長崎　裕也 東京都 1°36′01″	野田　昭和 鳥取県 56′49″	佐矢野　利明 大分県 46′46″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°08′10″	ローズマリー・リトル オーストラリア 57′22″	
第33回	平山　健悟 福岡県 1°44′42″	野田　昭和 鳥取県 55′41″	ピエール・フェアーバンク フランス 45′05″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°10′10″	ローズマリー・リトル オーストラリア 58′44″	渡辺　勝 福岡県 46′10″
第34回	清田　愼也 熊本県 1°37′40″	佐藤　友祈 静岡県 ＊53′10″	松永　仁志 岡山県 46′35″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°09′54″	ローズマリー・リトル オーストラリア 53′11″	河室　隆一 大分県 50′33″
第35回	清田　愼也 熊本県 1°28′53″	野田　昭和 鳥取県 53′41″	渡辺　勝 福岡県 47′32″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°12′54″	中山　和美 神奈川県 53′11″	田中　祥隆 福岡県 52′29″
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1°25′11″	野田　昭和 鳥取県 56′44″	渡辺　勝 福岡県 43′46″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′14″	リュー・ウェンユン 中国 52′05″	武村　浩生 福岡県 50′52″
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田　愼也 熊本県 1°24′48″	野田　昭和 鳥取県 53′50″	百武　強士 佐賀県 46′11″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°11′52″	中山　和美 神奈川県 52′59″	生馬　知季 岡山県 46′21″
第39回	井上　聡 愛媛県 1°27′22″	野田　昭和 鳥取県 55′46″	サミュエル・リゾ オーストラリア 46′35″	出走者なし	木山　由加 岡山県 1°17′49″	見﨑　真未 熊本県 1°15′37″	岸澤　宏樹 大阪府 48′31″
2020	出走者なし	伊藤　竜也 福井県 57′48″	久保　恒造 北海道 ＊43′42″	出走者なし	片平　留依 福岡県 1°45′35″	安川　祐里香 沖縄県 57′36″	仲泊　厚志 沖縄県 49′01″

大分国際車いすマラソン　マラソン歴代10傑

男子（T34／53／54）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	★1°20′14″	ハインツ・フライ	スイス	1999	第19回大会
2	1°21′24″	サウル・メンドーサ	メキシコ	1999	第19回大会
3	1°21′40″	マルセル・フグ	スイス	2014	第34回大会
4	1°22′02″	鈴木　朋樹	東京都	2020	2020大会
5	1°23′22″	エレンスト・ヴァン・ダイク	南アフリカ	2007	第27回大会
6	1°23′22″	山本　浩之	福岡県	2007	第27回大会
7	1°23′23″	ロジャー・プイグボ	スペイン	2007	第27回大会
8	1°23′23″	安岡　チョーク	福岡県	2007	第27回大会
9	1°23′23″	廣道　　純	大分県	2007	第27回大会
10	1°23′23″	小谷　謙二	兵庫県	2007	第27回大会

男子（T33／52）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	1°43′46″	サンティアゴ・サンツ	スペイン	2007	第27回大会
2	1°44′04″	髙田　稔浩	福井県	2007	第27回大会
3	1°44′55″	上与那原　寛和	沖縄県	2007	第27回大会
4	1°47′57″	佐藤　友祈	岡山県	2018	第38回大会
5	1°52′36″	伊藤　智也	三重県	2006	第26回大会
6	1°53′28″	トーマス・ガイアシュペヘラー	オーストリア	2003	第23回大会
7	1°55′43″	クリスチャン・エデュアルド・トーレス	コロンビア	2018	第38回大会
8	1°56′58″	ピチャヤ・クラッタナシリ	タイ	2013	第33回大会
9	1°57′49″	クレイトン・ガーリン	カナダ	2002	第22回大会
10	1°58′45″	三浦　　尊	愛知県	2000	第20回記念大会

男子（T51）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	2°27′07″	ピーター・ドウ・プレア	南アフリカ	2019	第39回大会
2	2°29′06″	ジョン・マッカーシー	アイルランド	2019	第39回大会
3	2°32′36″	ステファン・ストローベル	ドイツ	2010	第30回記念大会
4	2°38′45″	エルネスト・フォンセカ	コスタリカ	2018	第38回大会
5	2°40′09″	ハインリッヒ・クーベール	ドイツ	2007	第27回大会
6	2°41′05″	トーステン・オポルド	ドイツ	2001	第21回大会
7	2°41′40″	アルヴィーゼ・デ・ヴィディ	イタリア	2001	第21回大会
8	2°45′02″	井上　　聡	愛媛県	2006	第26回大会
9	2°55′07″	井上　英年	兵庫県	2000	第20回記念大会

以下、完走者なし

女子（T34／53／54）

	タ　イ　ム	氏　　名	国／都道府県	年	大　　会
1	★1°35′42″	マニュエラ・シャー	スイス	2019	第39回大会
2	1°35′50″	喜納　　翼	沖縄県	2019	第39回大会
3	1°36′26″	スザンナ・スカロニ	アメリカ	2019	第39回大会
4	1°38′07″	土田　和歌子	東京都	2013	第33回大会
5	1°39′25″	リュー・ウェン・ユン	中国	2007	第27回大会
6	1°39′28″	畑中　　和	兵庫県	2006	第26回大会
7	1°39′41″	モニカ・ベテルストロム	スウェーデン	1997	第17回大会
8	1°41′01″	ダイアン・ロイ	カナダ	2007	第27回大会
9	1°41′42″	タチアナ・マクファーデン	アメリカ	2014	第34回大会
10	1°43′21″	アマンダ・マクグローリー	アメリカ	2009	第29回大会

女子（T33／52）

	タ　イ　ム	氏　　名	国／都道府県	年	大　　会
1	★2°07′28″	八巻　智美	福島県	2008	第28回大会
2	2°10′27″	リサ・マリー・フランクス	カナダ	2004	第24回大会
3	2°21′16″	ミシェル・スティルウェル	カナダ	2009	第29回大会

以下、完走者なし

★　世界記録
※　T33／52、T51の記録はクラス分けの変更のあった19回大会以降のもの

大分国際車いすマラソン　ハーフマラソン歴代10傑

男子（T34／53／54）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	43′ 42″	久保　恒造	北海道	2020	2020大会
2	43′ 46″	渡辺　勝	福岡県	2016	第36回大会
3	44′ 37″	渡辺　習輔	大分県	2003	第23回大会
4	44′ 54″	城間　圭亮	長崎県	2020	2020大会
5	44′ 56″	百武　強士	佐賀県	2020	2020大会
6	44′ 56″	廣道　純	大分県	2020	2020大会
7	45′ 02″	エクトル・エルナンデス	メキシコ	2001	第21回大会
8	45′ 02″	笹原　廣喜	大分県	2001	第21回大会
9	45′ 04″	松永　仁志	岡山県	2020	2020大会
10	45′ 05″	ピエール・フェアーバンク	フランス	2013	第33回大会

男子（T33／52）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	53′ 10″	佐藤　友祈	静岡県	2014	第34回大会
2	53′ 41″	野田　昭和	鳥取県	2015	第35回大会
3	53′ 59″	上与那原　寛和	沖縄県	2006	第26回大会
4	54′ 59″	髙田　稔浩	福井県	1999	第19回大会
5	55′ 04″	森島　英樹	兵庫県	1999	第19回大会
6	56′ 31″	松本　直幸	福岡県	2013	第33回大会
7	57′ 48″	伊藤　竜也	福井県	2020	2020大会
8	58′ 21″	レヤド・アル・マルソコ	バーレーン	2000	第20回記念大会
9	59′ 24″	大矢　勇気	兵庫県	2013	第33回大会
10	59′ 41″	キム・スミン	韓国	2018	第38回大会

男子（T51）

	タイム	氏名	国／都道府県	年	大会
1	1° 04′ 09″	三浦　尊	愛知県	1999	第19回大会
2	1° 10′ 25″	オー・サン・フン	韓国	2001	第21回大会
3	1° 16′ 30″	村瀬　昌裕	北海道	1999	第19回大会
4	1° 17′ 57″	吉本　茂	長野県	2002	第22回大会
5	1° 19′ 22″	井上　英年	兵庫県	1999	第19回大会
6	1° 22′ 54″	エドガル・ナバーロ	メキシコ	2001	第21回大会
7	1° 24′ 44″	若杉　竜也	大分県	1996	第16回大会
8	1° 24′ 48″	清田　慎也	熊本県	2018	第38回大会
9	1° 25′ 11″	エルネスト・フォンセカ	コスタリカ	2016	第36回大会
10	1° 27′ 22″	井上　聡	愛媛県	2019	第39回大会

女子（T34／53／54）

	タ　イ　ム	氏　　名	国／都道府県	年	大　　会
1	49′ 36″	土田　和歌子	東京都	2000	第20回記念大会
2	51′ 30″	ゲニラ・ワレングレン	スウェーデン	1999	第19回大会
3	52′ 05″	リュー・ウェンユン	中国	2016	第36回大会
4	52′ 50″	中山　和美	神奈川県	2016	第36回大会
5	53′ 11″	ローズマリー・リトル	オーストラリア	2014	第34回大会
6	53′ 22″	安川　祐里香	神奈川県	2016	第36回大会
7	54′ 28″	マリア・デ・ファチマ・フォンセカ	ブラジル	2015	第35回大会
8	54′ 33″	川島　由美	兵庫県	2004	第24回大会
9	54′ 33″	マニュエラ・シャー	スイス	2010	第30回記念大会
10	54′ 40″	奥山　京子	山形県	1997	第17回大会

女子（T33／52）

	タ　イ　ム	氏　　名	国／都道府県	年	大　　会
1	58′ 03″	ジェニー・ルンドブラッド	スウェーデン	2002	第22回大会
2	1° 04′ 07″	八巻　智美	福島県	2001	第21回大会
3	1° 04′ 26″	田中　照代	愛知県	2000	第20回記念大会
4	1° 08′ 10″	木山　由加	岡山県	2012	第32回大会
5	1° 11′ 48″	要田　美紀	東京都	2002	第22回大会
6	1° 23′ 47″	レティシア・トレス	メキシコ	2001	第21回大会
7	1° 27′ 46″	クリステン・メサー	アメリカ	2010	第30回記念大会
8	1° 36′ 07″	カレン・マーチ	カナダ	2000	第20回記念大会
9	1° 45′ 35″	片平　留依	福岡県	2020	2020大会
10	1° 48′ 39″	石川　水緒	愛媛県	2019	第39回大会

※　T33／52、T51の記録はクラス分けの変更のあった19回大会以降のもの

協力者名簿

大分県警察本部
大分中央警察署
陸上自衛隊第41普通科連隊
日本赤十字社大分県支部
国立別府重度障害者センター
大分県障害者スポーツ指導者協議会
株式会社大分センチュリーホテル

大分県警察本部交通部交通機動隊
大分東警察署
大分市交通指導員連合会
社会医療法人恵愛会大分中村病院
株式会社日本航空
九州旅客鉄道株式会社

大分県共同募金会
株式会社トキハ
千代田商事株式会社
大分みらい信用金庫
長洲郵便局
芝田　豊通・エミ

大分県信用組合
株式会社豊和銀行
九州労働金庫大分県本部
大分航空ターミナル株式会社
近藤　晴彦

大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do
株式会社富士通エフサス
連合大分大分地域協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
JA 共済連大分
ジブラルタ生命保険株式会社
社会福祉法人太陽の家
東京海上日動火災保険株式会社
第一生命保険株式会社
西日本電信電話株式会社
学校法人大原学園
新別府病院
大分市医師会立アルメイダ病院
大分大学医学部附属病院

オムロン太陽株式会社
大分みらい信用金庫
九州電力株式会社
鬼塚電気工事株式会社
有限会社アズメディック
清水建設株式会社
全日本空輸株式会社
大分リハビリテーション専門学校
大分航空ターミナル株式会社
株式会社コンカー
大分県立病院
医療法人社団唱和会明野中央病院
大分県医師会

佐藤加保子
姫野　孝一
實崎　裕美
二橋　由紀
河野　信俊
後藤　　唯
石井　浩美
後藤　優和
朝見　高樹
西原　　洋
渡邉　研治
掛谷　照彦
合澤　義人
西川　裕次
小山　繁美

井上　　明
佐藤　仁美
岩尾　明弘
吉田由利子
原田　牧子
鶴林　弘二
阿南　初美
池田　洋子
坂井　祐里
姫野　千秋
佐藤　裕美
川本由紀美
一ノ瀬明子
添田　翔子
清永　義忠

渡邊　靖子
間藤　浩一
宮崎　卓也
徳部　和子
中島　秀富
小野真知子
清水　千恵
平塚　誠逸
阿部　義徳
佐々木初江
園田　真里
川本　公江
中本　清則
深川登志夫
白石　文治

園田　政弘
姫野　俊治
津賀　和夫
渡邊　義徳
安東　義則
坂本　晴弥
河野　　彰
今別府　勝
衛藤　公生
田北　敬史
井上　　隆
末光　　愛
Tomek Ziemba
末松　幹哲
末廣　裕子

昇　　健
姫野美由紀
幸　　和康
原田　邦博
大渡　崇夫
石井　　満
原田　麗明
尾本　玲子
荒殿　亮二
田中　新子
染矢　和陽
高橋　真澄
川野あい子
古井　繭子

明星国際ビューティーカレッジ
大分県身体障害者福祉センター
大分市立三佐小学校
大分県立大分商業高等学校
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
大分地方検察庁
大分地方法務局
大分土木事務所
大分市営陸上競技場
大分県職員駐車場運営委員会
大分県のぞみ園
住友化学株式会社大分工場
大分県立新生支援学校
理容ポスト
別府市下水道課
セブンイレブン大分日岡３丁目店
ダイワ運輸株式会社北九州営業所
社会福祉法人アップルミント

国土交通省九州運輸局大分運輸支局
大分市立舞鶴小学校
大分県立大分舞鶴高等学校
大分市営温水プール
二豊学園
日本製鉄九州製鉄所大分地区
王子マテリア株式会社
三菱商事太陽株式会社
大和リース株式会社
有限会社 OP 車椅子センター
国立病院機構大分医療センター
大分県立臼杵支援学校
昭和電工株式会社
社会福祉法人新友会
株式会社きんでん
ひろかわ和洗
日本郵便株式会社
社会福祉法人法治会

一文字渡船組合
一般社団法人大分県タクシー協会
大分バス株式会社
亀の井バス株式会社
大分市タクシー協会

一般社団法人大分県バス協会
社団法人大分県個人タクシー協会
公益社団法人大分県トラック協会
大分交通株式会社

有限会社大分タキ
株式会社ミキ

日進医療器株式会社
株式会社オーエックスエンジニアリング

大分市中央町商店街

NPO 法人キッズスポッチャ

その他、沿道住民・沿線企業・学校・施設等　（以上順不同、敬称略）
皆様のおかげを持ちまして大分車いすマラソン2020を開催することができました。
厚くお礼申し上げます。

大分車いすマラソン2020　記念誌

企画編集　大分車いすマラソン2020事務局
（大分県福祉保健部障害者社会参加推進室）
www.kurumaisu-marathon.com
TEL　097-533-6006
FAX　097-506-1736

印 刷 所　佐伯印刷株式会社
TEL　097-543-1211

大　分　県

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

大　分　市

大分合同新聞社

社会福祉法人大分県社会福祉協議会

大分県障がい者スポーツ協会

協賛各社
OMRON SONY HONDA 三菱商事 DENSO FUJITSU
新日本製薬 大分銀行 九電工 Canon SHIPS Gibraltar ジブラルタ生命 清水建設 公益社団法人 大分県薬剤師会 Oita Pharmaceutical Association
マルミヤストア ANA JA共済 株式会社別大興産 明野中央病院 東京海上日動 第一生命 Dai-ichi Life Group 鬼塚電気工事
phiten 日本生命 SAP Concur 笹川スポーツ財団 日本郵便 YAHOO! JAPAN NTT西日本